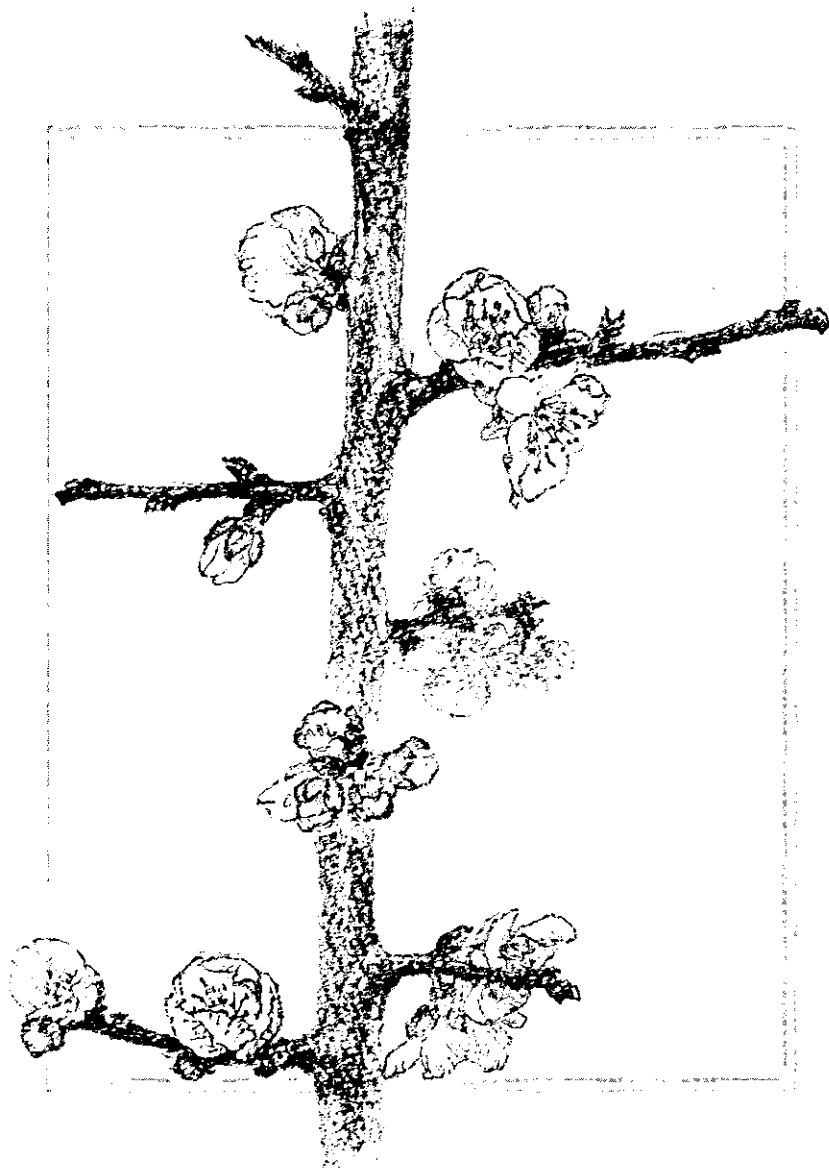


平成24年度 (2012年度) 生徒便覧



愛知県立旭陵高等学校

〒461-8654 名古屋市東区出来町三丁目6の23

電話 〈052〉721-5371

ホームページ <http://www.kyokuryo.ed.jp/>
<http://www.kyokuryo-h.aichi-c.ed.jp/>



目 次

① 諸手続	2
② 学校への連絡方法	3
③ 台風時など暴風警報が発令されている場合	3
④ 教育課程	4・5
⑤ 「単位制」「通信制」について	6
第一章 入学から卒業まで	
① 入学から卒業までのあらまし	7・8
② 特科生と併修生	9
③ 高等学校卒業程度認定試験の科目合格による単位認定	10
④ 技能審査の成果の単位認定	11
⑤ 学校外における学修の成果の単位認定	11
第二章 学 習	
① 受講登録から学習開始まで	12
② 自宅での学習	13
③ 添削指導（レポート）	13・14・15
④ 放送視聴	15・16
⑤ 面接指導（スクーリング）	17・18・19・20・21
X面接指導日の時間割・出席の記録	20
Y面接指導日の時間割・出席の記録	21
z面接指導日の時間割・出席の記録	22
補充として利用できる放送番組・補充面接指導の時間割	23・24
⑥ 試 験	24・25
年間行事予定表	26・27・28
添削指導の記録	29
各科目の学習状況・特別活動の出席の記録	30
学習計画表	31・32
第三章 進路について	
① 進路相談	33
② 証明書の発行について	33
③ 進学について	33・34
④ 就職について	34・35
⑤ 高校卒業程度認定試験資格合格による進学・就職について	35
第四章 特別活動と学校生活	
① 特別活動	36・37
② 学校生活における諸注意	37・38・39
③ 学校行事	40
④ 日本スポーツ振興センター及びPTA安全互助会の利用	41
⑤ 生徒会	42・43・44・45・46
⑥ 東海地震等激甚災害時の対応について	47・48
第五章 本校生の特典・施設の利用・同窓会・その他	
① 本校生の特典	49・50
② 施設の利用	50・51・52
③ 同窓会	53
校舎配置図	54・55・56・57
本校の沿革	58

自 己 学 ぶ

生 徒 心 得

本校の生徒は、本校で学ぶ誇りと自信をもって、先生方や友人との心のふれ合いを深め、旭陵高校生として、また良識ある社会人として、知性を磨き、品格を高めると共に、気力をもって精進と努力を重ねなければなりません。それは皆さんのうるわしい明日の夢を招来することでしょう。

- ① 本校に在学する生徒は年令・職業にかかわらず、すべて高校生として校規校則を守ること。
- ② 生活態度は校内外を問わず、つねに高校生としてまた良識ある社会人としての自覚にもとづいたものでなければならない。いやしくも不名誉な行動をとらないこと。
- ③ 学習については、学校の示す教育課程ならびに学習指導にしたがって正しく進めること。
- ④ 学習以外の学校行事等の教育活動については、指示にしたがって参加すること。
- ⑤ 通信制教育ではとりわけ文書の取り扱いが大切である。提出を指示された文書、届出を義務づけられている文書などはすべて指示にしたがって、とどこおりなく提出すること。

愛知県立旭陵高等学校

学 年 組	生 徒 番 号	氏 名

① 諸 手 続

(1) 証明書発行に関すること。

証 明 書 名	提 出 書 類	手 続 先	備 考
調査書・成績(単位 修得・見込)証明書	調査書・成績(単位 修得)証明書交付願	ホームルーム担任	必要とする日の1週間以上前に申し込んでください。
在 学 証 明 書	在学証明書交付願	事 務 室	当該年度の受講手続を完了していない生徒には交付できません。
身 分 証 明 書	身分証明書の台紙に 写真を添付したもの	ホームルーム担任	身分証明書の有効期間は、その年度内です。 毎年度初めに発行の手続をとってください。
学校学生生徒旅客 運賃割引証 (通信教育学校用)	学校学生生徒旅客運 賃割引証交付願	(通学用) 事 務 室	この割引は、通学にＪＲ、名鉄及び近鉄の鉄道を利用する場合、回数乗車券を購入するときに適用されます。発行枚数は年間6枚が限度です。割引証の有効期間は1ヶ月です。
		(旅行用) ホームルーム担任 の承認を得て 事 務 室 へ	この割引は、大学などの受験、入社試験や帰省、見学などの旅行で、ＪＲ及び近鉄(バスを除く)を片道100kmを超える区間を乗車する場合に適用されます。p.49参照

(2) 次のような事由が生じた場合には、申し出てください。

事 由	提 出 書 類	申 出 先	備 考
転 学	転 学 願 (用紙は、ホームルーム 担任から交付をうける)	ホームルーム担任	やむを得ない事情により、他校に転学を希望する場合。
退 学	退 学 願 (用紙は、ホームルーム 担任から交付をうける)	ホームルーム担任	やむを得ない事情により、退学する場合。
学 習 中 断	学 習 中 断 届	ホームルーム担任	やむを得ない事情により、年度の途中で学習を中断する場合、及び、翌年度の学習を中断する場合。
住所・姓の変更	住所・姓変更届	ホームルーム担任	この手続を怠ると学校からの連絡ができなくなるので、必ず届けてください。
勤務先の変更	勤務先変更届		
学校管理下で傷害 が生じた場合	医療等の状況報告書	保 健 係 ホームルーム担任	「日本スポーツ振興センター」及び「愛知県公立高等学校PTA連合会見舞金」の利用。p.41参照
交 通 事 故		ホームルーム担任	被害、加害ともに、すみやかに届け出てください。
災 害		ホームルーム担任	火災・地震等により災害が生じた場合。
死 亡		ホームルーム担任	生徒本人の一親等の方が死亡した場合。

② 学校への連絡方法

(1) 郵便による連絡

- ① 学習に関する質問や提出物などは、すべてレポートの提出方法に準じてください。
- ② 通信教育のための郵便（第4種）料金は、100gまでは15円です。（平成24年4月現在）

注意 提出用の封筒は、学校との郵便の往復以外には使用してはいけません。

(2) 電話による連絡

学校に用件のある場合は、電話によって連絡してもかまいませんが、次の点は守ってください。

- ① 連絡時間は平日の9時00分～12時00分、13時00分～16時00分をお願いします。
注意 生徒便覧p.26～p.27の年間行事予定表で休日になっている日は連絡ができません。
- ② 用件を述べる前に、学年・組・氏名を明らかにしてください。
- ③ 用件は簡潔・明瞭に、また礼儀正しく話せるように心がけてください。

(3) 平日出校による連絡

学校に用件のある場合は、直接出校してもかまいませんが、次の点は守ってください。

- ① 事前に学校に電話し、担当者の都合を聞いてください。
- ② 約束した時間に遅れないようにしてください。もし遅れることになったら電話で学校に連絡してください。

学習状況連絡票でお知らせするレポートの提出状況や面接指導の出席状況について疑問があれば、ただちに、その科目の担当者に連絡をとって、確認をしてください。

例年、この確認を怠って単位が修得できなくなる生徒がありますので、特に注意してください。

その他何かあったら早めに、ホームルーム担任に連絡してください。

電話は9時00分～12時00分、13時00分～16時00分の間に

③ 台風時など暴風警報が発令されている場合

午前7時になっても暴風警報が解除されない場合は、その日の面接指導・試験・学校行事等は実施しません。面接指導・試験が中止になったときは、その日の分を予備日に実施します。（予備日の日程は年間行事予定表を参照してください。）

暴風警報が発令されているときの扱いについては、本校のWebページにも掲載します。

④ 教育課程

平成23年度以前に入学した生徒の教育課程編成表

(2年次以上は受講科目を選択)

教科	科目	標準 単位数	1年次	2年次	3年次	4年次	計	備 考
国 語	国 語 総 合	4	4●				4	(1) 受講科目を選択すること で3年間での卒業が可能。 (2) ●のついた科目及び総合 的な学習の時間は必修得。 (3) △▽◇□のついた科目は 選択必修得科目で、同記号 の科目の中から1科目以上 を選択。 (4) ◎○のついた科目は新入 学時に同記号の科目の中か らそれぞれどちらか一方を 選択。 (5) 「数学入門講座」「英語入 門講座」は、学校設定科目。 (6) 単位制で運用するので類 型は設けない。 (7) 卒業に必要な単位数は74 単位以上とする。 (8) 教務内規に従って高等学 校卒業程度認定試験でこの 表にある科目に合格した場 合、当該科目の標準単位数 を本校の単位として認定で きる。 (9) 学校外における学修 教科「学校外活動」 科目「知の探究講座」
	現 代 文	4			4		4	
	古 典	4			4		4	
地 理 史	世 界 史 B	4			4●		4	
	日 本 史 B	4			4△		4	
	地 理 B	4			4△		4	
公 民	現 代 社 会	2	3●				3	
	政 治 ・ 経 済	2			3		3	
数 学	数 学 I	3	◎3●				3	
	数 学 II	4			4		4	
	数 学 A	2			3		3	
	数学入門講座	2	◎2				2	
理 科	理科総合A	2	3●				3	
	物 理 I	3			3◇		3	
	化 学 I	3			3◇		3	
	生 物 I	3			3◇		3	
	地 学 I	3			3◇		3	
保 健 育	体 育	7～8	3●	3●	3●	3	12	
	保 健	2	2●				2	
芸 術	音 楽 I	2			3□		3	
	美 術 I	2			3□		3	
	書 道 I	2			3□		3	
外国語	外国語総合I	2			3▽		3	
	英 語 I	3	○3▽				3	
	英 語 II	4			4		4	
	英語入門講座	2	○2				2	
家 庭 情 報	家 庭 総 合	4			4●		4	※この表は新入学をした生徒 を対象にしたものである。 ※転編入学をした生徒は前歴 校等での科目の単位修得状 況によって必修得の条件が 異なる場合がある。 ※転編入学をした生徒は卒業 までに満たすべき特別活動 時数が異なる場合がある。
	情 報 C	2			2●		2	
商 業	ビジネス基礎	2～4			3		3	
	ビジネス経済	2～4			3		3	
	簿 記	2～5			4		4	
家 庭	消費生活	2～6			3		3	
	フードデザイン	2～6			4		4	
総合的な学習の時間			3～6		3●		3	
計			25		93		118	
受講登録可能な単位数の上限			21	28	28	28	105	
特 別 活 動 30単位時間以上			10以上	10以上	10以上	10以上	30単位時間以上	

※1年次(0～13単位を修得しているもの)2年次(14～27単位を修得しているもの)3年次(28単位以上修得していて、その年度に卒業条件を満たす見込みのないもの)4年次(その年度に卒業条件を満たす見込みのあるもの)

平成24年度入学生教育課程編成表

(2年次以上は受講科目を選択)

教科	科目	標準 単位数	1年次	2年次	3年次	4年次	計	備 考
国 語	国 語 総 合	4	4●				4	(1) 受講科目を選択することで3年間での卒業が可能。 (2) ●のついた科目及び総合的な学習の時間は必修得。 (3) △▽□のついた科目は選択必修得科目で、同記号の科目の中から1科目以上を選択。 (4) 理科は選択必修得科目で◇から3科目以上を選択。 (5) ◎○のついた科目は新入学時に同記号の科目の中からそれぞれどちらか一方を選択。 (6) 「数学入門講座」「英語入門講座」は、学校設定科目。 (7) 単位制で運用するので類型は設けない。 (8) 卒業に必要な単位数は74単位以上とする。 (9) 教務内規に従って高等学校卒業程度認定試験でこの表にある科目に合格した場合、当該科目の標準単位数を本校の単位として認定できる。 (9) 学校外における学修 教科「学校外活動」 科目「知の探究講座」
	現 代 文	4			4		4	
	古 典	4			4		4	
地 理 史	世 界 史 B	4			4●		4	
	日 本 史 B	4			4△		4	
	地 理 B	4			4△		4	
公 民	現 代 社 会	2	3●				3	
	政 治 ・ 経 済	2			3		3	
数 学	数 学 I	3	◎3●				3	
	数 学 II	4			4		4	
	数 学 A	2			3		3	
	数学入門講座	3	◎3				3	
理 科	化 学 基 礎	2	2◇				2	※この表は新入学をした生徒を対象にしたものである。 ※転編入学をした生徒は前歴校等での科目の単位修得状況によって必修得の条件が異なる場合がある。 ※転編入学をした生徒は卒業までに満たすべき特別活動時数が異なる場合がある。
	物 理 基 礎	2			2◇		2	
	生 物 基 礎	2			2◇		2	
	地 学 基 礎	2			2◇		2	
保 健 育	体 育	7～8	3●	3●	3●	3	12	
	保 健	2	2●				2	
芸 術	音 楽 I	2			3□		3	
	美 術 I	2			3□		3	
	書 道 I	2			3□		3	
外国語	オーラルコミュニケーション	2			3▽		3	
	英 語 I	3	○3▽				3	
	英 語 II	4			4		4	
	英語入門講座	3	○3				3	
家 庭	家 庭 総 合	4			4●		4	
情 報	情 報 C	2			2●		2	
商 業	ビジネス基礎	2～4			3		3	※この表は新入学をした生徒を対象にしたものである。 ※転編入学をした生徒は前歴校等での科目の単位修得状況によって必修得の条件が異なる場合がある。 ※転編入学をした生徒は卒業までに満たすべき特別活動時数が異なる場合がある。
	ビジネス経済	2～4			3		3	
	簿 記	2～6			4		4	
家 庭	消 費 生 活	2～4			3		3	
	フードデザイン	2～6			4		4	
総合的な学習の時間		3～6	3●				3	
計			29		84		113	
受講登録可能な単位数の上限			23	23	23	23	107	
特 別 活 動		30単位時間以上	10以上	10以上	10以上	10以上	30単位時間以上	

※1年次(0～13単位を修得しているもの)2年次(14～27単位を修得しているもの)3年次(28単位以上修得していて、その年度に卒業条件を満たす見込みのないもの)4年次(その年度に卒業条件を満たす見込みのあるもの)

⑤ 「単位制」「通信制」について

旭陵高校は、科目ごとに単位を修得して卒業をめざす
単位制の通信制高校です。

「単位制」「通信制」についての詳しい説明は、以下のページにあります。

「単位制の仕組み」について

- 単位修得の条件 8 ページ
- 卒業認定の条件 8 ページ

「通信制の仕組み」について

自宅での学習

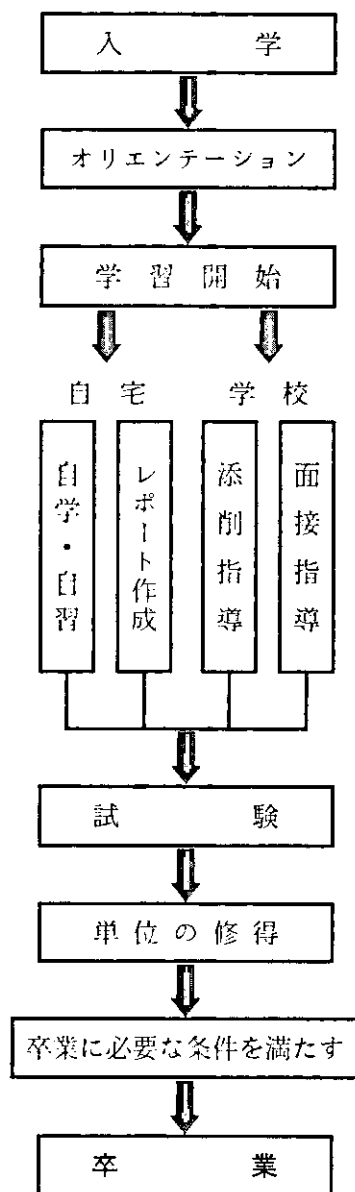
- 添削指導 13 ページ～15 ページ
- 放送視聴 16 ページ

出校しての学習

- 面接指導 17 ページ～22 ページ
* 面接指導の出席時数が不足する場合については
19 ページ、22 ページ、23 ページ、24 ページ
- 試 験 24 ページ～25 ページ

第一章 入学から卒業まで

① 入学から卒業までのあらまし



(1) 入学時のオリエンテーション

入学後、すぐに新・転・編入生を対象としたオリエンテーションを実施します。どのようにしたら、通信教育でうまく学習を進められるか、学校ではどのような活動をするのかなどについて説明をします。

(2) 自宅学習とレポート作成

通信教育では自宅学習が中心となります。

学校が定めた教育課程に基づき、教科書と学習書、副教材などを使用し、都合の良い時間に勉強してレポートを提出していただきます。勉強の際、NHK高校講座（NHK Eテレ、ラジオ第2放送、Web ページ）も役に立ちます。

(3) 添削指導と面接指導

学校へ提出されたレポートは教科担当の教員が添削し、自宅に返送します。レポートは提出するだけでなく、必ず合格しなければなりません。内容が不十分な場合は再提出を求めます。再提出が求められたレポートは必ず再提出してください。再提出せず放置しておく、単位の修得ができなくなります。

面接指導はX面接指導とY面接指導あわせて年間16日実施します。面接指導では教科担当の教員による教科指導をおこないます。この日には、ホームルーム（HR）活動、部活動などもおこないます。X面接指導・Y面接指導とは別にZ面接指導を年間8日実施します。

X・Y・Z面接指導日以外に科目によっては補充面接指導や校外学習を実施することがあります。また、林間学校、学校祭、スキー・スノーボード学校、修学旅行などの行事を内容とする面接指導もあります。これらの行事にも積極的に参加しましょう。

(4) 試 験

前期と後期の2回実施します。試験を受けるためには学校があらかじめ定める条件を満たしていることが必要です。受験資格のない科目を受験することはできません。

(5) 単位の修得

各科目の単位を修得するためには科目ごとに次の条件をすべて満たすことが必要です。

添削指導
(レポート)



すべて完了(合格)していること。

面接指導
(スクーリング)



必要面接指導時数以上出席していること。

* 科目ごとの必要面接指導時数は、学習計画表に示してあります。

試 験



年2回の試験を受け、その成績が良好であること。

単位の修得は、科目ごとに認定します。

(6) 卒業の認定

卒業の認定は、次の条件をすべて満たした場合におこないます。

3 か 年 以 上 の 在 籍 年 数

* 高等学校における在籍年数が、通算して3年以上

すべての必修得科目の修得

* 必修得科目は、p.4～p.5の教育課程表に示してあります。

74単位以上の修得単位数

〔必修得科目とは、卒業のために必ず修得しなければならない科目のことです。(必修科目と略称することもあります。)]

30時間以上の特別活動出席時数

〔*ただし 2・3年次生として入学した者——20時間
4年次生として入学した者——10時間
p.36～p.37を参照してください。〕

30日以上の出校日数

〔*ただし 2・3年次生として入学した者——20日
4年次生として入学した者——10日〕

(7) 教育課程

教育課程とは、入学から卒業までに必要な科目や単位数、特別活動の時間数などを示したものです。本校では4か年で卒業するのが標準ですが、3か年で卒業することも可能です。教育課程表はp.4～p.5に示してあります。

(8) 生徒番号

生徒番号は、右のようにつけられ、卒業まで変わりません。学校に提出する書類にはすべて記入することになりますから、正確に覚えましょう。

24-001

↑
入学年度

↑
個人番号

個人番号のつけ方

新入生	001～299
転入生	301～399 801～899
編入生	401～499 601～699
特科生	501～599
併修生	HS HA001～

(9) 年次編成

1 年次	前年度までに修得した単位数が13単位以下の者。
2 年次	前年度までに修得した単位数が14単位以上27単位以下の者。
3 年次	前年度までに修得した単位数が28単位以上で、その年度に卒業が見込まれない者。
4 年次	その年度に卒業見込みの者。

② 特科生と併修生

(1) 特科生

特科生とは一部の教科・科目について単位修得を目的とせず受講する生徒をいいます。

ア すべてのレポートの学習が完了（合格）し、面接指導に必要面接指導時数以上を出席したときには、その科目の修了証を授与します。

イ 部活動・学校行事にも参加できます。

ウ 出校日には、所定の場所から「HR伝達（ホームルーム伝達）」などを受け取り、ホームルーム担任（HR担任）から指導を受けてください。

(2) 併修生

併修生とは他の高校に在籍する生徒で、在籍校からの依頼により本校で特定の科目を受講する者をいいます。

面接指導日（および補充面接指導日）に出校して、面接指導を受けるとともに、年2回の試験を受験して本校の単位修得条件を満たした場合には、その科目の「評定」を在籍校の校長に報告します。（各科目の単位修得条件は、p. 8を参照してください。）

在籍校では本校からの報告に基づき、在籍校の単位として認定がなされることになります。

なお、出校日には、所定の場所から「HR伝達（ホームルーム伝達）」などを受け取り、本校の併修担当者の指導を受けてください。

③ 高等学校卒業程度認定試験（高認）の科目合格による単位認定

「高認」での科目合格が本校の単位として認定できる場合があります。

(1) 「高認」で科目合格をした場合に、本校の単位として認定できる科目及び単位数

高認での合格科目	本校での認定科目	本校での認定単位数
国語	国語総合	4
世界史B	世界史B	4
日本史B	日本史B	4
地理B	地理B	4
現代社会	現代社会	2
政治・経済	政治・経済	2
数学	数学I	3
物理I	物理I	3
化学I	化学基礎	2
生物I	生物I	3
地学I	地学I	3
英語	英語I	3

注 この表以外の高認科目は、合格しても本校の単位としては認定できません。

(2) この制度を利用して単位の認定を受けるための注意

- ① 「高認」に科目合格して単位認定を申請するためには、対応する科目がその年度に本校で受講登録されている必要があります。
- ② 「高認」による単位の認定は、1年間に3科目12単位以内です。
- ③ 「高認」で単位認定を希望する場合でも、1年間に受講登録できる単位数の上限は28単位（1年次は23単位）です。したがって、高認を利用しても1年間に修得できる単位数の上限が増えるわけではありません。

(3) この制度を利用して単位の認定を受けるための手続

- ① 本校で実施する説明会に出席をして説明を受けてください。説明会は第1回は5月、第2回は9月に実施します。そのときに「高認による単位認定仮申請書」を提出してください。
- ② 合格後、1月29日(火)までに必要書類を整え、ホームルーム担任に提出して申請してください。
 必要書類 ア 「高認による単位認定申請書」
 イ 高認試験合格者は「合格成績証明書」
 一部科目合格者は「科目合格通知書」
 （その年度に合格した科目が確認できることが必要です。）

〈参考〉高等学校卒業程度認定試験（高認）

（p.35も参照してください。）

『高認』は、文部科学省が実施する試験で、高等学校を卒業したものと同等以上の学力があることを認定するための試験です。詳細は文部科学省のホームページを参照するか、本校教務課進路係の担当者に尋ねてください。主な内容は次の通りです。

- ① 受験できる年齢は受験の年度内に満16歳以上であること。
- ② 試験科目の全部に合格し認定試験合格者となることができるのは満18歳の翌日から。
- ③ 『高認』合格者は大学・短大・専門学校などへの出願ができます。

④ 技能審査の成果の単位認定

(1) 入学後に下表にある資格を取得した場合

- ① 対応科目の単位をすでに修得しているときは、本人からの申請により、対応科目の増加単位として認定します。
- ② 対応科目の単位をまだ修得していないときは、対応科目の単位を修得した年度に本人からの申請により、対応科目の増加単位として認定します。

※入学前に資格を取得している場合は、本校の単位としては認定できません。

(2) 資格が複数の科目に対応する場合

その中の1科目を本人が選択して申請してください。

(3) 技能審査の成果の単位認定が適用される資格と科目

資格名称（主催団体）	本校の対応科目	増加単位数
実用英語技能検定2級 （日本英語検定協会）	英語Ⅰ、英語Ⅱ、 オーラル・コミュニケーションⅠ	3単位
簿記実務検定1級 （全国商業高等学校協会）	簿記	1単位
簿記検定2級 （日本商工会議所）	簿記	1単位
簿記能力検定1級 （全国経理学校協会）	簿記	1単位

(4) この制度を利用して増加単位の認定を受けるための手続

資格取得後、1月29日(火)までに必要書類を整え、ホームルーム担任に提出して申請してください。

必要書類 ア 「技能審査による単位認定申請書」（用紙は2階職員室にあります。）

イ 「合格証明書」（今年度合格したことがわかる書類、コピーでよい。）

⑤ 学校外における学修の成果の単位認定

あいち・知と技の探求教育特区に係る事業に参加し、活動の成果が十分であると認められる場合、「学校外活動」として単位を認定します。詳しい案内は「HR伝達」などでお知らせします。

第二章 学 習

① 受講登録から学習開始まで

(1) 受講登録の時期

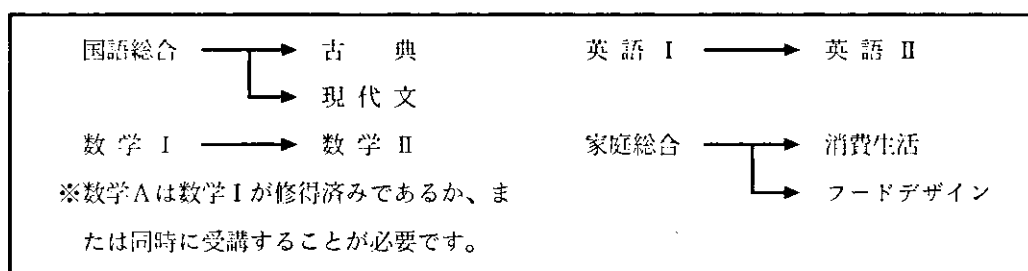
次年度に受講する科目の登録についての指導は、前年度の11月～1月頃にホームルーム担任によって実施します。

(2) 受講登録上の注意

ア 受講登録できる単位数は次年度に1年次生になる場合は23単位まで、次年度に2～4年次生になる場合は28単位までです。いずれの場合も2つ以上の科目を受講登録してください。

イ 卒業のために必ず修得しなければならない科目（必修科目）を優先的に登録しましょう。

ウ 段階的に学習する科目は以下のとおりです。左側の科目が修得済みでないと、右側の科目は受講できません。



エ 受講科目の決め方

① 面接指導の時間割表で1つの時間帯に1つの科目を受講登録してください。

② 試験の時間割表で1日5科目以内になるように受講登録してください。

※「高認」のみによる単位認定を希望する場合はホームルーム担任と相談してください。

上記①、②によらない受講登録を認める場合があります。

オ 「高認」合格科目の単位認定を希望する場合

ホームルーム担任と相談してください。「高認」で単位認定を希望する場合でも、1年間に受講登録できる単位数の上限は変わりません（p.10参照）ので、卒業が早くなるわけではありません。

(3) 受講科目の本人への連絡

次年度の受講科目は、年度末に納入通知書を郵送することによって連絡します。そのとき同時に時間割表（本人控え）も送付します。

(4) 学習の開始

入学金・学校諸経費などの納入が完了した時点で受講手続が完了し、学習を開始することができます。

教科書・学習書・報告課題（レポート）などは在校生手続日または入学式の日販売・配付します。

② 自宅での学習

毎日2～3時間は確保したいですね。

通信教育では自宅での学習が中心となります。

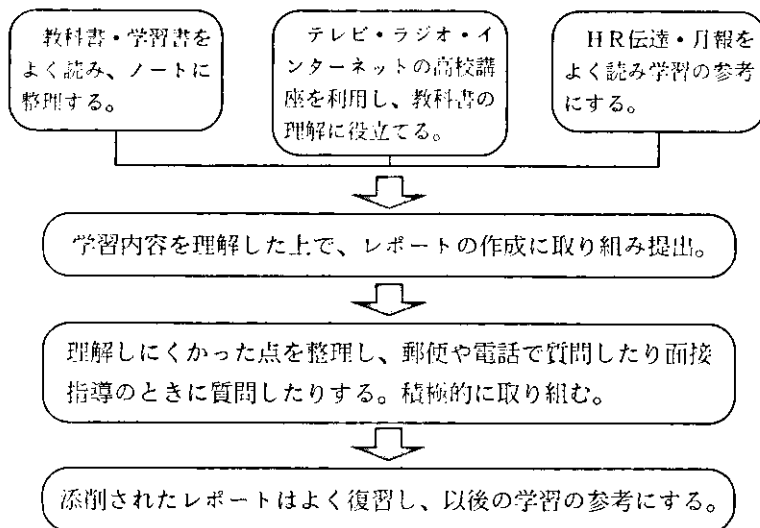
教科書・学習書・参考書、あるいはテレビ・ラジオ・インターネットの高校講座を利用しながら、各自で学習を進めていくことになります。
計画的に学習を進めましょう。

自宅学習

教科書・学習書	報告課題	インターネット・ラジオ 高校講座・テレビ視聴	H R 伝達・月報
---------	------	---------------------------	-----------

自宅学習の進め方

自宅での学習・4本柱



◎自宅学習を支援する旭陵高校 Web ページ「教科の窓」も利用できます。

生徒のみさんの自宅学習を支援する Web ページ「教科の窓」を、一部の科目で開設しています。旭陵高校のホームページ（アドレスはこの生徒便覧表紙を参照してください）から、ユーザー名とパスワードを入力して入ってください。
（ユーザー名とパスワードは、月報でお知らせします。）

③ 添削指導（レポート）

(1) レポート作成の方法

学習計画表を見てそれぞれのレポートをいつまでに出さなければいけないのかを確認しましょう。仕事のスケジュール等をよく考えて学習計画を立て、まとめて提出しないように心がけましょう。教科書・学習書をよく読み、内容を整理して自分の力でレポートに取り組むことが大切です。すべての設問・課題に答えてください。空白があるレポートは「提出とは認められない」（提出と認めず）と判断することがあります。

各レポートの提出期限内に提出してください。郵送する場合は確実にノリづけをしましょう。

(2) レポートの提出方法

レポートを提出するときは、④青色封筒（「愛知県立旭陵高等学校 御中」と書いてある）の中に、③完成したレポートと⑤茶色封筒（自宅の住所・氏名等を記入し15円分の切手を貼る）を入れて、提出してください。（④⑤はレポート1通に1組ずつ用意することが必要です。）

④青色封筒（「愛知県立旭陵高等学校 御中」と書いてある）の作り方

- ・おもて面 15円分の切手を貼る。（直接レポート投入口に提出する場合は不要です。）
- ・裏書き

提出する日を記入する

「国語総合」のように正確な科目名と正しいレポート番号を記入する

添削担当者の講師番号を講師番号表で確認し正しい講師番号を記入する

塗りつぶしの部分は記入してはいけない

5月10日提出

国語総合

レポート番号

※太枠内は必ず記入してください。

1 A

24-※※※

名古屋市○○区○○町○○○

△△マンション○棟○号室

郵便番号

再提出の場合は「再」と記入する

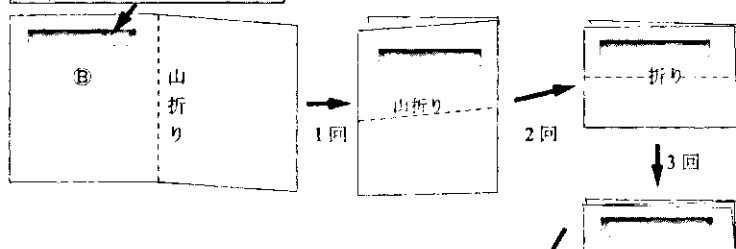
必ず記入する

ノリづけが十分かを確認し、しっかり封をする

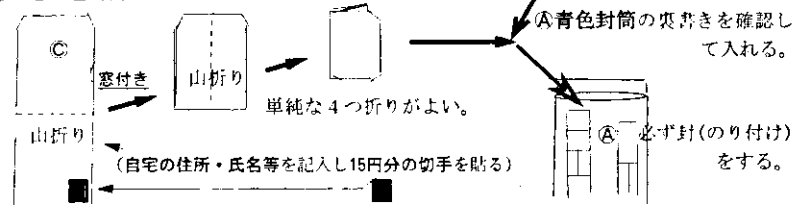
④青色封筒の中に入れるもの

① ③完成したレポートの本体

学年・組・生徒番号・氏名欄がいつもおもてに出るように3回折る（面積8分の1）



② ⑤茶色封筒



※切手が貼ってなかったり、自分の住所・氏名が書いてないとレポートを返却できません。

レポート1通ごとに1組の提出用封筒（青色封筒）と返信用封筒（茶色封筒）が必要です。
2通以上のレポートをまとめて一つの封筒に入れてはいけません。

※レポートを学校に持ってきて直接提出する場合は、事務室前のレポート投入口に入れてください。

外にある **夜間・休日** レポート投入口は、休日などで事務室が閉まっているときの専用です。特別の場合以外は使わないでください。受付の日付けが遅れることがあります。

レポートを提出するときには、以下のチェック項目を確認しましょう。

チ ェ ッ ク 項 目	① 1科目1課題（レポート）毎の封筒であるか
	② 正確に科目名が記入してあるか
	③ 正しいレポート番号が記入してあるか
	④ 学年・組・生徒番号・住所・氏名・郵便番号が記入してあるか
	⑤ 講師番号が記入してあるか
	⑥（郵送で提出する場合）切手が貼ってあるか
	⑦ 返信用封筒に切手が貼ってあるか
	⑧ 返信用封筒に住所・氏名が記入してあるか

※提出した日をp.29に記録しておきましょう。

(3) レポートの提出日の扱い

レポートの提出日の扱いは郵送・持参にかかわらず、事務室で受付をした日が提出日となります。

特に郵送の場合は、ポストに投函した日や消印の日ではないことに注意してください。

※提出期限の日も当日に必着しなければなりません、十分に注意してください。

(4) 添削後、返送されたレポート

ア それぞれのレポートの提出期限日後3週間をメドに返送します。返送されないときは、その科目の添削担当者に問い合わせてください。（提出期限日前に提出されたレポートでも、定められた各提出期限日が過ぎるまでは返送しません。）

イ レポートが返送されたら、ただちに開封して中を確認してください。再提出を求められた場合は、よく学習し直して、レポートを訂正し、速やかに再提出してください。

※指導が完了（合格）した日をp.29に記録しておきましょう。

返送されたレポートや封筒は念のため1年間は必ず保管しておいてください。

4 放送視聴

自学自習を手助けするものとして、NHK高校講座をはじめ教育番組の視聴を強く勧めます。また、科目によっては補充として利用できることがあります（p.23を参照してください）。一週間のスケジュールをうまくたてて、おおいに活用しましょう。

NHK高校講座の番組は、インターネットでも配信されています。詳しくはNHKのホームページを参照してください。

<http://www.nhk.or.jp/kokokoza/>

2012年度(平成24年度) **NHK** 高校講座 番組時刻表

(2012年2月20日現在)

■Eテレ

※太字は新作・新番組です。

時刻	曜日	月	火	水	木	金	
午後	2:00～2:20	科学と人間生活 ベーシック数学	化学	理科総合 A・B	世界史	地理	2:00～2:20
	2:20～2:30	ベーシック英語			芸術 美術Ⅰ・書道Ⅰ	家庭総合	2:20～2:40
	2:30～3:00	英語Ⅰ	地学	物理	数学Ⅰ	生物	2:40～3:00
	3:00～3:30				情報A 数学基礎	日本史	3:00～3:30

■ラジオ第2

※太字は新作・新番組です。

時刻	曜日	月	火	水	木	金	土
午後	7:10～7:30						オール・コミュニケーションⅠ
	7:30～7:50	現代文	現代文	保健体育	保健体育	古典	古典
	7:50～8:10	現代社会	現代社会	数学Ⅱ	数学Ⅱ	倫理	政治・経済
	8:10～8:30	英語Ⅱ	英語Ⅱ	国語表現Ⅰ	音楽Ⅰ	国語総合	国語総合

このほかに、**NHK** 高校講座ライブラリーとして、**Eテレ3** (マルチ放送) で、半年遅れで前年度の番組が再放送されます。

Eテレ3 (マルチ放送) を視聴する方法は、次のとおりです。

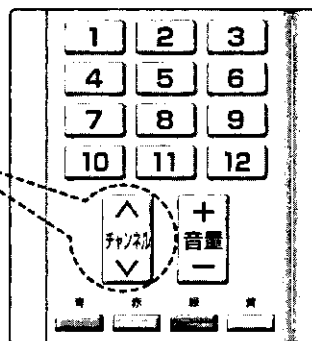
テレビNHK高校講座ライブラリー (マルチ放送) を見るには？

リモコンのチャンネル番号で2チャンネルを押し
Eテレを選ぶとはじめは**Eテレ1** (021) の番組をご覧いただけます。

高校講座ライブラリーをご覧いただくには「チャンネル(選局)」ボタンの上側(△)を押してください。

Eテレ3 (023) に切り替わります。

Eテレ1に戻るには、「チャンネル(選局)」ボタンの下側(▽)を押してください。



「チャンネル(選局)」上下ボタンの位置は機種によって異なります。また、EPG(電子番組表)から選局する方法もあります。詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

⑤ 面接指導（スクーリング）

(1) 面接指導日（面接指導日の時間割表はp.20、21、22に示してあります。）

ア X面接指導およびY面接指導は日曜日に、年間16日実施します。

X 1：5月6日(日) Y 1：5月13日(日) X 2：5月27日(日) Y 2：6月3日(日)

X 3：6月17日(日) Y 3：6月24日(日) X 4：7月8日(日) Y 4：7月15日(日)

X 5：10月7日(日) Y 5：10月14日(日) X 6：11月4日(日) Y 6：11月11日(日)

X 7：11月25日(日) Y 7：12月2日(日) X 8：12月9日(日) Y 8：12月16日(日)

イ Z面接指導は火曜日に、年間8日実施します。

Z 1：5月15日(火) Z 2：6月5日(火) Z 3：6月26日(火) Z 4：7月17日(火)

Z 5：10月16日(火) Z 6：11月13日(火) Z 7：12月4日(火) Z 8：12月18日(火)

(2) 実施する面接指導時数（実施面接指導時数）

実施する面接指導時数は科目によって異なります。X面接指導およびY面接指導で年間に実施する時数は次のとおりです。同じ内容の面接指導に2回以上出席しても、出席時数として計算するのは1時間分のみです。

	年間4時間実施する科目	年間6時間実施する科目	年間8時間実施する科目	年間16時間実施する科目	
	「保健」	「総合的な学習の時間」	国語・地理歴史・公民・数学のすべての科目、「化学基礎」、「消費生活」、「情報C」、「ビジネス基礎」、「経済活動と法」	英語・芸術のすべての科目、「物理I」、「生物I」、「地学I」、「体育」、「家庭総合」、「簿記」	「フードデザイン」
前期	X1（5月6日）	第1時間	第1時間	第1時間	第1・2時間
	Y1（5月13日）		第2時間	第2時間	第3・4時間
	X2（5月27日）			第3時間	
	Y2（6月3日）			第4時間	
	X3（6月17日）	第2時間	第3時間	第5時間	第5・6時間
	Y3（6月24日）		第4時間	第6時間	
	X4（7月8日）			第7時間	
	Y4（7月15日）			第8時間	
後期	X5（10月7日）	第3時間	第5時間	第9時間	第9・10時間
	Y5（10月14日）		第6時間	第10時間	第11・12時間
	X6（11月4日）			第11時間	
	Y6（11月11日）			第12時間	
	X7（11月25日）	第4時間	第7時間	第13時間	第13・14時間
	Y7（12月2日）		第8時間	第14時間	
	X8（12月9日）			第15時間	
	Y8（12月16日）			第16時間	
	X面接またはY面接のどちらか一方の、偶数回か奇数回に出席してください。	X1・X2・X3・X4・X7・X8に出席してください。	X面接またはY面接のどちらか一方に出席してください。	X面接およびY面接の両方に出席してください。	X面接の2時間続きで出席してください。

年間4時間実施する科目 ⇒ 「保健」

(X面接またはY面接のどちらか一方の、偶数回か奇数回に出席してください)

年間6時間実施する科目 ⇒ 「総合的な学習の時間」

(X1・X2・X3・X4・X7・X8に出席してください)

年間8時間実施する科目 ⇒ 国語・地理歴史・公民・数学のすべての科目、「化学基礎」、
「消費生活」、「情報C」、「ビジネス基礎」、「経済活動と法」

(X面接またはY面接のどちらか一方に出席してください)

年間16時間実施する科目 ⇒ 英語・芸術のすべての科目、「物理I」、「生物I」、「地学I」、
「体育」、「家庭総合」、「フードデザイン」、「簿記」

〔X面接およびY面接の両方に出席してください。ただし、「フード
デザイン」のみX面接の2時間続きで出席してください。〕

(3) 出席しなければならない面接指導時数(必要面接指導時数)

その科目の単位を修得するには、科目ごとに定める最低時数(必要面接指導時数)以上は必ず出席しなければなりません。科目ごとに定める必要面接指導時数は下の表に示すとおりです。

2時間以上	保健
3時間以上	現代社会、政治・経済、数学I、数学A、数学入門講座、 総合的な学習の時間
4時間以上	国語総合、現代文、古典、世界史B、日本史B、地理B、数学II
5時間以上	情報C
6時間以上	消費生活、ビジネス基礎、経済活動と法
7時間以上	化学基礎
8時間以上	家庭総合、フードデザイン、簿記
12時間以上	物理I、生物I、地学I、音楽I、美術I、書道I、 オーラル・コミュニケーションI、英語I、英語入門講座
13時間以上	体育
14時間以上	英語II

※例年、学年末に出席時数が不足して単位が修得できない生徒があります。必要面接指導時数をできるだけ早く満たすように心がけましょう。

(4) 面接指導における注意

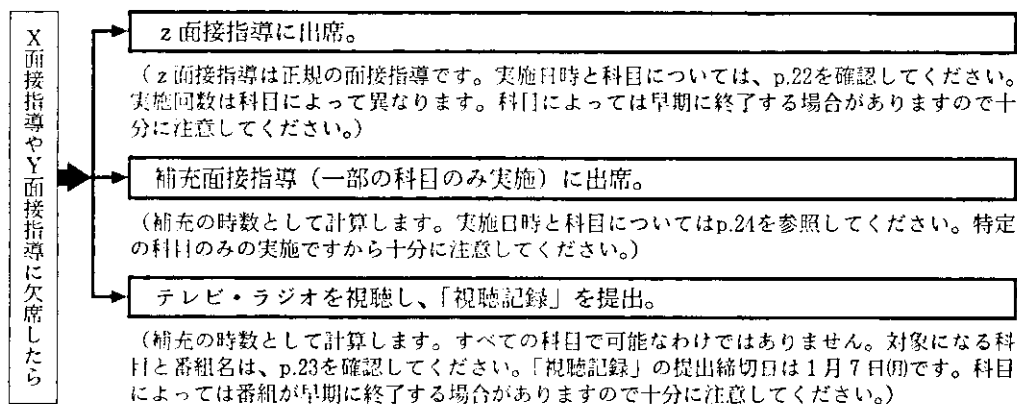
ア 面接指導には遅刻しないようにしましょう。遅刻した場合は出席として認められない場合があります。

イ 出席したら必ず出席票を提出してください。提出しない場合は出席として扱いません。

ウ 面接指導の内容は、「月報」であらかじめ予告します。よく予習して臨みましょう。

(5) 面接指導に欠席したら

面接指導に欠席したため必要面接指導時数を満たせない場合には出席時数の補充ができます。ただし補充できる時数には限度があります。科目ごとの補充可能時数はp.31～p.32の学習計画表で確認してください。



「視聴記録」を提出するときの注意

- 1 放送番組の視聴を科目の補充として利用するためには、「視聴記録」を提出しなければなりません。「視聴記録」用紙の入手の仕方や書き方、提出の仕方など詳細については、それぞれの科目の担当者に問い合わせ、その指導を受けてください。
- 2 放送番組60分以上の視聴で1時間の補充として計算します。例えば30分番組なら2回、20分番組なら3回の視聴で1時間の補充として計算します。

上記以外に補充する方法がある科目

体育	林間学校に行き、体育的活動に参加し十分であると認められる場合は2時間を、スキー・スノーボード学校に行き、体育的実習に参加し十分であると認められる場合は2時間を補充時数として認定します。
----	--

音楽Ⅰ	クラシックの曲を鑑賞したうえで、その感想文を提出し内容が十分と認められる場合は演奏時間に応じて60分以上ごとに1時間の補充時数として認定します。
-----	--

美術Ⅰ	美術展または工芸展を鑑賞したうえで、その感想文を提出し内容が十分と認められる場合は1時間を補充時数として認定します。
-----	--

書道Ⅰ	書道展を鑑賞したうえで、その感想文を提出し内容が十分と認められる場合は、1時間を補充時数として認定します。または、指示された課題を提出し内容が十分と認められる場合は、相当する時間を補充時数として認定します。
-----	---

消費生活	教材ビデオを視聴したうえで、内容・感想をまとめた学習記録を提出し内容が十分と認められる場合は視聴時間に応じて補充時数として認定します。
------	---

その他 一部の科目で「校外学習」を実施することがあります。これは正規の面接指導です。実施については、「月報」や「HR伝達」などで連絡します。

X面接指導日の時間割

受講する講座に印をつけておきましょう。

	1限 9:00~9:50	2限 10:00~10:50	3限 11:00~11:50	4限 12:40~13:30	5限 13:40~14:30	6限 14:40~15:30	6限終了後 15:35~
X1(5月6日)	現代文 古典	国語総合	国語総合 古典	国語総合 現代文	現代文	古典	
X2(5月27日)	日本史B 地理B	世界史B	日本史B 地理B	世界史B	世界史B	日本史B	
X3(6月17日)	政治・経済	現代社会		現代社会	現代社会	政治・経済	
X4(7月8日)			数学Ⅰ		数学Ⅱ	数学Ⅰ	
X5(10月7日)	数学A			数学A	数学Ⅱ		
X6(11月4日)		化学基礎	物理Ⅰ	化学基礎	物理Ⅰ	化学基礎	
X7(11月25日)		生物Ⅰ 地学Ⅰ	体育	生物Ⅰ 地学Ⅰ	体育	生物Ⅰ 地学Ⅰ	
X8(12月9日)		美術Ⅰ 書道Ⅰ		美術Ⅰ	音楽Ⅰ 美術Ⅰ	音楽Ⅰ	
	英語Ⅱ	英語入門講座 オーラル・コミュニケーションⅠ	英語Ⅰ	英語入門講座 英語Ⅰ	英語入門講座 オーラル・コミュニケーションⅠ 英語Ⅰ	英語入門講座 英語Ⅰ	
		家庭総合	家庭総合		家庭総合	家庭総合	
		フードデザイン					
	ビジネス基礎		経済活動と法	ビジネス基礎		経済活動と法	
		簿記			簿記		
				情報C		情報C	
	総合的な学習 の時間						ロングタイム

出席の記録

出席した時間に印をつけておきましょう。

X面接	1限 9:00~9:50	2限 10:00~10:50	3限 11:00~11:50	4限 12:40~13:30	5限 13:40~14:30	6限 14:40~15:30	6限終了後 15:35~
受講科目 (受講教室)	()	()	()	()	()	()	()
X1(5月6日)							
X2(5月27日)							
X3(6月17日)							
X4(7月8日)							
X5(10月7日)							
X6(11月4日)							
X7(11月25日)							
X8(12月9日)							

Y面接指導日の時間割

受講する講座に印をつけておきましょう。

	1限 9:00~9:50	2限 10:00~10:50	3限 11:00~11:50	4限 12:40~13:30	5限 13:40~14:30	6限 14:40~15:30	6限終了後 15:35~
Y1 (5月13日)	現代文 古典	国語総合	現代文	国語総合 現代文	国語総合 古典	現代文 古典	
Y2 (6月3日)	日本史B	世界史B 日本史B		世界史B	世界史B	日本史B 地理B	
Y3 (6月24日)			地理B	地理B		現代社会	
Y4 (7月15日)	現代社会 政治・経済 数学入門講座		政治・経済	現代社会	政治・経済	現代社会	
Y5 (10月14日)			数学Ⅰ	数学Ⅱ		数学Ⅰ	
Y6 (11月11日)	化学基礎		化学基礎 物理Ⅰ		数学Ⅲ 化学基礎 物理Ⅰ		
Y7 (12月2日)		生物Ⅰ 地学Ⅰ		生物Ⅰ 地学Ⅰ		生物Ⅰ 地学Ⅰ	
Y8 (12月16日)		体育 保健	体育 保健	体育	体育	保健 音楽Ⅰ 音楽Ⅰ	
	書道Ⅰ	美術Ⅰ 書道Ⅰ		美術Ⅰ	音楽Ⅰ 美術Ⅰ		
		英語入門講座 オーラル・コミュニケーションⅠ	英語入門講座	英語入門講座	英語入門講座	英語入門講座	
	英語Ⅱ	英語Ⅰ	英語Ⅰ	英語Ⅰ 英語Ⅱ	英語Ⅰ	英語Ⅰ	
	消費生活	家庭総合 消費生活	家庭総合		家庭総合	家庭総合	
	経済活動と法		ビジネス基礎	経済活動と法		ビジネス基礎	
	簿記	簿記		簿記	簿記		
	情報C		情報C	情報C		情報C	
							ロングタイム

出席の記録

出席した時間に印をつけておきましょう。

Y面接	1限 9:00~9:50	2限 10:00~10:50	3限 11:00~11:50	4限 12:40~13:30	5限 13:40~14:30	6限 14:40~15:30	6限終了後 15:35~
受講科目 (受講教室)	()	()	()	()	()	()	()
Y1 (5月13日)							
Y2 (6月3日)							
Y3 (6月24日)							
Y4 (7月15日)							
Y5 (10月14日)							
Y6 (11月11日)							
Y7 (12月2日)							
Y8 (12月16日)							

z面接指導日の時間割

受講する講座に印をつけておきましょう。

		1限 9:00~9:50	2限 10:00~10:50	3限 11:00~11:50	4限 13:00~13:50	5限 14:00~14:50
z1 (5月15日)	多目的教室 大体育館				国語総合	体育
z2 (6月5日)	物理化学教室 多目的教室 大体育館			物理Ⅰ 国語総合		体育
z3 (6月26日)	物理化学教室 生物地学教室 多目的教室 大体育館			フードデザイン	地学Ⅰ	世界史B 体育
z4 (7月17日)	S2・3教室 S4教室 物理化学教室 生物地学教室 視聴覚教室 多目的教室 大体育館	簿記 現代文 現代社会 音楽Ⅰ 書道Ⅰ	ビジネス基礎 日本史B 地理B 美術Ⅰ 英語Ⅰ	経済活動と法 保健 家庭総合 古典	消費生活 政治・経済 英語入門講座	体育
z5 (10月16日)	物理化学教室 生物地学教室 多目的教室 小体育館		オーラル・コミュニケーションⅠ	生物Ⅰ 国語総合	化学基礎 英語Ⅱ	体育
z6 (11月13日)	S1教室 物理化学教室 生物地学教室 視聴覚教室 多目的教室 小体育館		情報C 物理Ⅰ	生物Ⅰ	化学基礎 英語Ⅰ	体育
z7 (12月4日)	S1教室 物理化学教室 生物地学教室 視聴覚教室 多目的教室 小体育館	数学Ⅰ	情報C 地学Ⅰ 英語Ⅱ	数学入門講座	フードデザイン オーラル・コミュニケーションⅠ	世界史B 体育
z8 (12月18日)	S2・3教室 S4教室 物理化学教室 生物地学教室 視聴覚教室 多目的教室 小体育館	簿記 古典 日本史B 数学Ⅱ 音楽Ⅰ 書道Ⅰ	ビジネス基礎 現代文 政治・経済 地理B 美術Ⅰ	経済活動と法 消費生活 数学A 現代社会	保健 家庭総合	体育

出席の記録

出席した時間の科目名を記入しておきましょう。

z面接	1限 9:00~9:50	2限 10:00~10:50	3限 11:00~11:50	4限 13:00~13:50	5限 14:00~14:50
z1 (5月15日)					
z2 (6月5日)					
z3 (6月26日)					
z4 (7月17日)					
z5 (10月16日)					
z6 (11月13日)					
z7 (12月4日)					
z8 (12月18日)					

面接指導の補充として利用できる放送番組

放送曜日・時間は、p.16 を参照してください。

■NHK高校講座（Eテレ）

科目名	番組名
世界史B	世界史
日本史B	日本史
地理B	地理
数学I	数学I
数学入門講座	ベータ数学
物理I	物理
化学基礎	化学
英語入門講座	ベータ英語

科目名	番組名
生物I	生物
地学I	地学
美術I	芸術
書道I	芸術
英語I	英語I
家庭総合	家庭総合
情報C	情報A

注意1.「芸術」の番組では、同じ時間帯に美術と書道が交互に放送されます。補充として利用できるのは、それぞれの科目に対応した内容の番組に限ります。

■NHK高校講座（ラジオ第2）名古屋 909kHz 豊橋・中津川 1,359kHz

科目名	番組名
国語総合	国語総合
現代文	現代文
古典	古典
現代社会	現代社会
政治・経済	政治・経済
数学II	数学II

科目名	番組名
保健 及び 体育	保健体育
音楽I	音楽I
ワイド・コミュニケーションI	ワイド・コミュニケーションI
英語II	英語II

注意2.「保健体育」の番組は、「保健」と「体育」の区別があります。補充として利用できるのは、それぞれの科目に対応した内容の番組に限ります。

◆「NHK高校講座」以外の番組

（補充として利用できる番組は、番組の廃止その他の理由により変更する場合があります。）

	科目名	番組名	放送曜日・時間
保健体育	体育	NHK テレビスポーツ教室	NHK Eテレ（日曜午後） 2:30~3:00
芸術	美術I	新日曜美術館	NHK Eテレ（日曜午前） 9:00~10:00 （再） 8:00~9:00
外国語	ワイド・コミュニケーションI及び英語II	ラジオ 英会話	NHKラジオ第2（月～金曜午前） 6:45~7:00 （再）（月～金曜午後） 0:25~0:40 9:45~10:00
	英語I及び英語入門講座	基礎英語1	NHKラジオ第2（月～金曜午前） 6:00~6:15 （再）（月～金曜午後） 6:45~7:00 9:00~9:15
		基礎英語2	NHKラジオ第2（月～金曜午前） 6:15~6:30 （再）（月～金曜午後） 7:00~7:15 9:15~9:30
	英語II	基礎英語3	NHKラジオ第2（月～金曜午前） 6:30~6:45 （再）（月～金曜午後） 7:15~7:30 9:30~9:45
家庭	フードデザイン	NHK きょうの料理・ビギナーズ	NHK Eテレ（月～木曜午後） 9:00~9:30 （再）（月～木曜午前） 11:00~11:30

●面接指導の補充として利用できる放送番組がない科目

「数学A」「消費生活」「ビジネス基礎」「簿記」「経済活動と法」「総合的な学習の時間」

補充面接指導の時間割

	時 間	多目的教室
8 月 26 日 (日)	09:00～09:50	簿 記
	10:00～10:50	ビジネス基礎
	11:00～11:50	経済活動と法

	時 間	S 4 教室	小体育館
12 月 23 日 (日)	09:00～09:50	簿 記	
	10:00～10:50	ビジネス基礎	
	11:00～11:50	経済活動と法	体 育

＊「HR伝達」・「月報」などで特に連絡のない限り、上記のように実施します。

⑥ 試 験

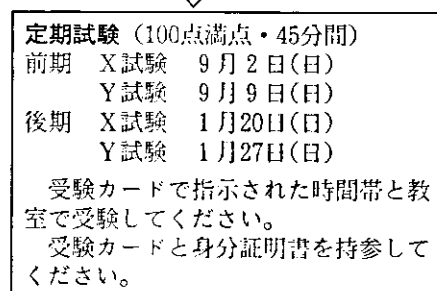
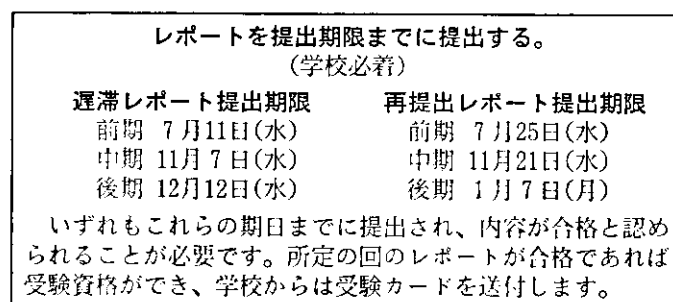
試験は前期と後期の2回実施します。この2回の試験を受験しないと単位を修得することができません。(ただし、芸術・情報のすべての科目の試験は前期のみ実施します。「総合的な学習の時間」は前期・後期とも試験を実施しません。) 万全の準備をして試験に臨みましょう。どの試験についても、やむを得ず受験できなくなった時点で、すぐにホームルーム担任に電話で連絡をとってください。

受験上の注意

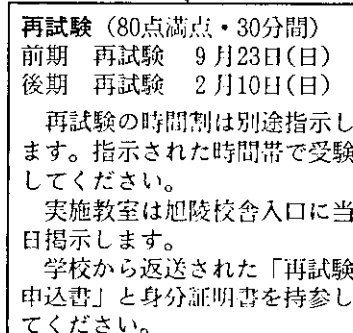
- ① 試験は厳正な態度で臨みましょう。不正行為があった場合は断固たる処置をとります。
- ② 事前に学校から送付される受験カードに指示された時間帯・教室で受験してください。
- ③ 遅刻をしないようにしましょう。ただし定期試験については、1限目は試験開始後15分間まで、2限日以降は試験開始後10分間までは入室を認めます。
- ④ 机上には身分証明書・受験カード・筆記用具のみを置くことができます。その他のものはカバンの中にしまってください。とくに、携帯電話は電源を切ってカバンの中にしまってください。
- ⑤ 机の中は空にしてください。

※暴風警報が発令されたとき

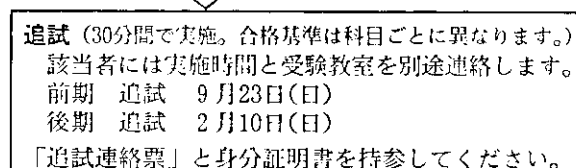
午前7時になっても暴風警報が解除されない場合は、その日の試験は中止し、予備日に実施します。予備日の日程は、年間行事予定表を参照してください。



定期試験が急な病気やケガなど、やむを得ない理由で受験できなかった場合は、「再試験申込書」を再試験申込締切日(前期9月18日(火)、後期2月5日(火))までにホームルーム担任に提出する。



試験の得点が基準点(合格点)に達しなかった場合、学校から「追試連絡票」を送付します。



返却された答案は1年間大切に保管すること。確認が必要となることがあります。

定期試験の時間割

受験する科目に印をつけておきましょう。

X試験	1限 9:00~9:45	2限 10:00~10:45	3限 11:00~11:45	4限 12:40~13:25	5限 13:40~14:25
前期 定期試験 9月2日	体育	化学基礎	国語総合	日本史B	家庭総合
後期 定期試験 1月20日		物理I	現代文	地理B	消費生活
		生物I	古典		フードデザイン
		地学I			
Y試験	1限 9:00~9:45	2限 10:00~10:45	3限 11:00~11:45	4限 12:40~13:25	5限 13:40~14:25
前期 定期試験 9月9日	現代社会	ビジネス基礎	数学入門講座	英語入門講座	音楽I
後期 定期試験 1月27日	政治・経済	経済活動と法	数学I	オーラル・コミュニケーションI	美術I
	世界史B	簿記	数学II	英語I	書道I
		保健	数学A	英語II	情報C

「音楽I」「美術I」「書道I」「情報C」は後期試験をおこないません。

同一の時限に複数の科目が重複する場合の時間帯と教室は、受験カードの指示にしたがってください。

平成24年度(2012年4月-2013年3月) 年間行事予定表

4月	5月	6月	7月	8月	9月
1 日	1 火	1 金	1 日	1 水	1 土
2 月	2 木	2 土	2 月	2 木	2 日 X試
3 火	3 水 憲法記念日	3 日 Y2 生徒総会	3 火	3 金	3 月
4 水	4 金 子どもの日	4 月	4 水	4 土	4 火 高認説明会
5 木	5 土 こどもの日	5 火 z2	5 木 学習状況連絡票 送付	5 日	5 水
6 金	6 日 X1	6 水	6 金	6 月	6 木
7 土	7 月	7 木	7 土	7 火	7 金
8 日 在校生手続・内 科検診	8 火 高認説明会	8 金	8 日 X4 防災訓練	8 水	8 土
9 月	9 水	9 土	9 月	9 木	9 日 Y試
10 火	10 木	10 日	10 火 4年進路懇談会	10 金	10 月
11 水	11 金	11 月	11 水 前期遅滞レポート 締切日	11 土	11 火 再試連絡
12 木	12 土	12 火	12 木	12 日	12 水
13 金	13 日 Y1 離任式	13 水	13 金	13 月	13 木
14 土	14 月	14 木	14 土	14 火	14 金 追試連絡
15 日 入学式	15 火 z1	15 金	15 日 Y4 生活体験発 表会	15 水	15 土
16 月	16 水	16 土	16 月 梅の日	16 木 受験資格連絡	16 日 予備日
17 火	17 木	17 日 X3	17 火 z4	17 金	17 月 敬老の日
18 水	18 金	18 月	18 水	18 土	18 火 再試申込締切日
19 木	19 土	19 火	19 木	19 日	19 水
20 金	20 日	20 水	20 金	20 月	20 木
21 土	21 月 保護者個別懇談 会(1年)	21 木	21 土 林間学校	21 火	21 金
22 日 オリエンテーション・ 内科検診・1年X線(心電図)	22 火 保護者個別懇談 会(2年)	22 金	22 日 林間学校	22 水	22 土 秋分の日
23 月	23 水 保護者個別懇談 会(3年)	23 土	23 月	23 木	23 日 再試・追試
24 火	24 木 保護者個別懇談 会(4年)	24 日 Y3 進路説明会	24 火 予備日	24 金	24 月
25 水	25 金	25 月	25 水 前期再提出レ ポート締切日	25 土	25 火
26 木	26 土	26 火 z3	26 木	26 日 部活・補充	26 水
27 金	27 日 X2	27 水	27 金	27 月	27 木
28 土	28 月	28 木	28 土	28 火	28 金
29 日 昭和の日	29 火	29 金	29 日 予備日	29 水	29 土 修学旅行
30 月 振替休日	30 水	30 土	30 月	30 木	30 日 修学旅行
	31 木		31 火	31 金 生徒連絡日	
・春期休業(～5日)	・検尿	・保護者会理事会・総会 ・検尿(二次)	・夏期休業(21日～)	・夏期休業(～31日)	・中部生活体験発表会

予定は都合により変更することがあります。

10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 月	1 木	1 土	1 火 元日	1 金	1 金
2 火	2 金	2 日 Y7 受講登録・教科書代還付説明会	2 木 年始	2 土	2 土
3 水	3 土 文化の日	3 月	3 木 年始	3 日 予備日	3 日
4 木	4 日 X6	4 火 z7	4 金	4 月 追試追認連絡	4 月
5 金	5 月	5 水	5 土 スキー・スノーボード学校	5 火 再試申込締切日	5 火
6 土	6 火	6 木 学習状況連絡票送付	6 日 スキー・スノーボード学校	6 水	6 水
7 日 X5 前期試験結果連絡票配布	7 水 中期遅滞レポート締切日	7 金	7 月 後期再提出レポート・視覚記録締切日	7 木	7 木
8 月 体育の日	8 木	8 土	8 火	8 金	8 金
9 火	9 金	9 日 X8 受講登録	9 水	9 土	9 土
10 水	10 土	10 月	10 木 受験資格連絡	10 日 再試・追試	10 日
11 木	11 日 Y6	11 火	11 金	11 月 建国記念の日	11 月
12 金	12 月	12 水 後期遅滞レポート締切日	12 土	12 火	12 火
13 土	13 火 z6	13 木	13 日	13 水 追認連絡	13 水
14 日 Y5 教科書代還付説明会	14 水	14 金	14 月 成人の日	14 木	14 木
15 月	15 木	15 土	15 火	15 金	15 金
16 火 z5 高認科目合格集約日	16 金	16 日 Y8 受講登録	16 水	16 土	16 土
17 水	17 土	17 月	17 木	17 日 追認指導	17 日 卒業式
18 木	18 日 予備日	18 火 z8	18 金	18 月	18 月
19 金	19 月	19 水	19 土	19 火	19 火
20 土	20 火 予備日	20 木	20 日 X試	20 水	20 水 春分の日
21 日 学校祭	21 水 中期再提出レポート締切日	21 金	21 月	21 木	21 木
22 月	22 木	22 土	22 火	22 金	22 金
23 火	23 金 勤労感謝の日	23 日 天皇誕生日 補充	23 水	23 土	23 土
24 水	24 土	24 月 振替休日	24 木	24 日	24 日
25 木 学習状況連絡票送付	25 日 X7 受講登録説明	25 火	25 金	25 月	25 月
26 金	26 月	26 水	26 土	26 火	26 火
27 土	27 火	27 木	27 日 Y試	27 水	27 水
28 日 東海四県交歓会	28 水	28 金	28 月 1月27日分	28 木	28 木
29 月	29 木	29 土 年末	29 火 平成28年度・高認科目認定申請締切日・技能審査申請締切日	保護者会理事会	29 金
30 火	30 金	30 日 年末	30 水		30 土
31 水		31 月 年末	31 木		31 日
・県生活体験発表会		・冬期休業(24日～) ・人権週間(4日～10日)	・冬期休業(～6日)		・春期休業(21日～)

平成24年度(2012年4月～2013年3月)カレンダー

予定は都合により変更することがあります。

	日	月	火	水	木	金	土
4月	1	2	3	4	5	6	7
	8 在校生手続	9	10	11	12	13	14
	15 入学式	16	17	18	19	20	21
	22 オリエンテーション	23	24	25	26	27	28
	29	30	1	2	3	4	5
5月	6 X1	7	8 高認説明会	9	10	11	12
	13 Y1	14	15 z1	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27 X2	28	29	30	31	1	2
6月	3 Y2	4	5 z2	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17 X3	18	19	20	21	22	23
	24 Y3	25	26 z3	27	28	29	30
7月	1	2	3	4	5	6	7
	8 X4	9	10	11 再提出締切	12	13	14
	15 Y4	16	17 z4	18	19	20	21 林間学校
	22 林間学校	23	24 予備日	25 再提出締切	26	27	28
	29 予備日	30	31	1	2	3	4
8月	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16 受験資格連絡	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26 留試・補充	27	28	29	30	31	1
9月	2 X試	3	4 高認説明会	5	6	7	8
	9 Y試	10	11	12	13	14 追試連絡	15
	16 予備日	17	18 再試申込締切	19	20	21	22
	23 再試・追試	24	25	26	27	28	29 修学旅行
	30 修学旅行	1	2	3	4	5	6
10月	7 X5	8	9	10	11	12	13
	14 Y5	15	16 z5	17	18	19	20
	21 学校祭	22	23	24	25	26	27
	28 東海同県交歓会	29	30	31	1	2	3
11月	4 X6	5	6	7 再提出締切	8	9	10
	11 Y6	12	13 z6	14	15	16	17
	18 予備日	19	20 予備日	21 再提出締切	22	23	24
	25 X7	26	27	28	29	30	1
12月	2 Y7	3	4 z7	5	6	7	8
	9 X8	10	11	12 再提出締切	13	14	15
	16 Y8	17	18 z8	19	20	21	22
	23 補充	24	25	26	27	28	29
	30	31	1	2	3	4	5 スキー学校
1月	6 スキー学校	7 再提出・再提出 締切	8	9	10 受験資格連絡	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20 X試	21	22	23	24	25	26
	27 Y試	28	29 高認単位締切	30	31	1	2
2月	3 予備日	4 追試追認連絡	5 再試申込締切	6	7	8	9
	10 再試・追試	11	12	13 追認連絡	14	15	16
	17 追認指導	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	1	2
3月	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17 卒業式	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						

添剤指導および試験

面接指導

5:44

学校行事

— 30 —

第三章 進路について

① 進路相談

本校を卒業することにより、大学・短大・専修学校の受験資格が得られます。進学や資格取得など進路に関することは、ホームルーム担任や教務課進路係に相談してください。各大学・短大・専修学校の募集要項や入学案内、各種受験雑誌や進学ガイドブック類、「高校卒業程度認定試験（高認）」や就職関係の資料が備えてありますので、閲覧を希望する人は申し出てください。また、旭陵校舎2階～3階南階段の進路掲示板をよくみるようにこころがけてください。なお進学・就職希望者を対象にした分野別の「進路説明会」を6月に実施します（詳しくは「HR伝達」や、「月報」で連絡します。）ので、希望者は出席するようにしてください。

② 証明書の発行について

就職や大学・短大・専修学校の出願には「調査書」や「成績証明書」などが必要です。必要とする日の1週間以上前にホームルーム担任に申し出てください。また出願先がはっきりしていない場合は発行はできません。（「単位修得証明書」や「単位修得見込証明書」の発行についても同様です。）

③ 進学について

(1) 大学・短期大学（一部・昼間部）

大学や短大に進学を希望する人は、学校の勉強とは別に相当の受験勉強が必要です。種々の受験雑誌や各大学のパンフレットなどをよく調べ、早めに志望校を決めることが大切です。その際に自分の適性や能力をよく考えて選択しなければなりません。ホームルーム担任や教務課進路係に相談するとともに、校外模試などを積極的に受験して自分の学力をよく把握してください。場合によっては予備校に通学するなど学力向上に努めてください。

(2) 推薦入試

推薦入学を実施する大学や短大・専修学校が増えていますが、推薦を希望する人は、所定の期日までに本校所定の「推薦願」をホームルーム担任に提出してください。その後校内推薦会議で審議のうえ推薦の可否を決定します。詳細は「HR伝達」で連絡します。

推薦されるためには、成績その他が大学等の推薦基準に合う必要があります。また本校の出席状況やレポートの提出状況なども考慮します。

指定校推薦・専願推薦入試の場合は、合格後の変更や辞退はできません。よく考えて申し出てください。

(3) 通信制大学・短大

大学・短大の通信教育部は、卒業後の資格などは一般大学となんらかわりません。印刷教材等による授業・面接指導・放送による授業・メディアを利用した授業などを組み合わせて学習が進められ、この形態は学校によって異なります。大学での通信教育に関心のある人を対象に夏と冬に合同説明会が実施され、資料の配付や個別相談がおこなわれますので利用してください。

通信教育部を設置している大学・短大は次の表のとおりです。詳しくは各大学の入学案内等を参照してください。

地 区	4 年 制 大 学	短 期 大 学
北 海 道	北海道情報・星槎	
東 北	東北福祉	
関 東	法政・慶應義塾・中央・日本女子・日本・玉川・東洋・明星・創価・産業能率・帝京平成・東京福祉・人間総合科学・聖徳・武蔵野・武蔵野美術・放送・早稲田・八洲学園・帝京・東京未来	自由が丘産能・聖徳・東京福祉
東 海	愛知産業・日本福祉・中部学院	愛知産業
近 畿	佛教・近畿・大阪学院・京都造形芸術・奈良・大阪芸術・神戸親和女子・近大姫路	大阪芸術・近畿・近大豊岡・神戸常盤
中 国	倉敷芸術科学・環太平洋	順正
九 州	サイバー大学・九州保健福祉・福岡医療福祉	近大九州
そ の 他	LEC東京リーガルマインド	

(4) 社会人入試

勤労者や主婦を対象に社会人入試をしている大学が多数あります。成績や年齢・勤務状況など学校によって種々の条件が付けられています。希望する人は、早めに資料を取り寄せた上でホームルーム担任や教務課進路係に相談してください。

(5) 専修学校（通称 専門学校）・各種学校

専修学校や各種学校は、各種の資格を取得したり、専門的な職業に就くための学校です。したがって自分の適性・将来の職業をよく考えて学校を選択しなければなりません。また入試や学校の内容はまちまちですので、学校の選択についてはよく研究してください。なお、高等看護学校など医療系の学校は大学や短大並みの受験勉強が要求されます。

④ 就職について

(1) 一般企業への就職

卒業見込者（4年次生）で就職を希望する人は、本校から名古屋中公共職業安定所に新規学卒者として就職斡旋を依頼することができます。就職希望者は6月に本校が実施する進路説明会に出席してください。ただし就職斡旋は原則として未成年者を対象とします。

(2) 公務員試験

公務員試験の受験を考えている人は、募集要項や願書はすべて自分で取り寄せてください。また出願も各自で行ってください。募集要項は、地方公共団体の広報や新聞などによく掲載されます。また、公務員試験関係の募集要項で学校に連絡が来たものについては、2階物理化学教室横の「教務課進路係掲示板」に適宜掲示しますので、出校日にはよく見るように心がけてください。公務員試験に合格するためには市販の問題集などを使用するなどして相当な受験勉強が必要です。

受験案内書、受験申込み用紙の請求先

試験を受けるためには、各都道府県の人事委員会で作った所定の申込み用紙で申込まなければなりません。また、受験案内書にはその年の実施要項が細かく説明されていますので、早めに取り寄せてください。

請求先は、各都道府県の人事委員会、県のサービスセンターなどです。直接訪れるのが最善ですが、郵便で請求する場合は、封筒の表に「初級試験申込用紙請求」とか「Ⅲ類申込書請求」または「高校卒程度」と赤字で書き、切手をはった返信先明記の返信用封筒を同封します。返信用封筒は定形封筒を使うのが普通ですが、都道府県によっては定形外大形封筒(切手の金額も変わる)でなければならないところもありますので注意してください。

受験申込みの受付期間

地方公務員採用試験は、各都道府県の人事委員会で行っているために、受験申込みの受付期間は統一されていません(国家公務員採用試験は統一日です)。早いところで6月中旬から、遅いところで9月中旬からです。

受付期間に申込みが間にあわないと受験できませんので、受験希望者は5月になったら自分が受験する都道府県の人事委員会へ問い合わせるようにしてください。

⑤ 「高校卒業程度認定試験(高認)」合格による進学・就職について

——— 以下の点について十分承知したうえで決めてください。 ———

- ① この高認合格による進学・就職のメリットは本校を卒業するよりも少し早く大学・専門学校などが受験できることです。
- ② 高認に合格し、年度末までに満18歳以上に達する人は高校卒業を待たず大学等の受験が可能です。(大学等の入学試験は満18歳以上でないと受験できません)

注意：①この制度を利用して高認に合格しても、大学等に入学し卒業しなければ学歴は中卒のままです。

②高認合格の資格で就職する場合、(公務員関係など一部を除き)必ずしも高卒資格と同等には扱ってくれないようです。

③高認合格の資格でもって就職を希望する人は、自分で職業安定所(ハローワーク)などで探すことになります。

※高認合格の資格でもって大学等に進学した場合は、本校には退学届を提出してください。

第四章 特別活動と学校生活

高等学校では教科の学習とは別に、特別活動にも参加することが必要です。

特別活動には、ホームルーム活動、学校行事、生徒会活動の3つがあります。

① 特別活動

(1) ホームルーム活動

面接指導日の6時限終了後にLT（ロングタイム）を実施します。

（学年ごとの目標）

- 1年次生 —— 仲間を知り、よりよい学習の場を作る。
- 2年次生 —— 学ぶことの意義を考え、人生の指針を確立する。
- 3年次生 —— 学習の充実をはかり、校内活動の中心的役割を果たす。
- 4年次生 —— 学校生活を振り返り、より良い人生を探求する。

(2) 学校行事

学校行事には、入学式・卒業式・在校生手続・新転編入生のオリエンテーションや生活体験発表会・学校祭などの全員が参加して行う行事と、修学旅行・林間学校・スキースノーボード学校など、目的によって希望者を募集して行う行事とがあります。卒業するまでに、できるだけ多くの行事に積極的に参加してください。

(3) 生徒会活動

全校生徒が、民主的な自主活動をとおして、お互いの理解を深め、明るい学校生活を築きあげていくことを目的として、学校祭・生徒総会・機関誌の発行・東海四県交歓会への参加などを行います。詳細については生徒会会則（p.42～45）を見てください。

(4) 特別活動出席時数の取り扱い

※注意 特別活動の時間補充は行いません。

卒業するまでに30時間（転編入生徒はp.8を参照のこと）の出席が必要です。各年次に合計10時間を目標にして出席するようにしましょう。特別活動の出席時数として計算するものは次の表に示してあるもので、それぞれ認定する出席時数は決まっています。よく考えて不足しないように参加してください。

特活時数取り扱い一覧

行 事	認定時数	対 象
L T (年間16回)	16	全員
在校生手続	2	在校生全員
入学式	2	新入生・転編入生
入学式手伝い	2	希望者
オリエンテーション	2	新入生・転編入生
夏季宿泊面接指導 (林間学校)	2	希望者
修学旅行	4	4年次生希望者
学校祭	2 ※	全員
冬季宿泊面接指導 (スキー・スノーボード学校)	2	希望者

※ 午前または午後だけの参加は1時間

(5) L T年間計画表

X 1	ホームルーム	X 5	ホームルーム
※ Y 1	離任式	Y 5	ホームルーム
X 2	ホームルーム	X 6	ホームルーム
※ Y 2	生徒総会	Y 6	ホームルーム
X 3	ホームルーム	X 7	ホームルーム (受講登録説明)
Y 3	ホームルーム	Y 7	ホームルーム (受講登録)
X 4	防災訓練	Y 8	ホームルーム (受講登録)
※ Y 4	校内生活体験発表会	X 8	ホームルーム (受講登録)

① ※印は体育館で実施します。

② z 面接指導日および試験の日にはL Tは実施しません。

② 学校生活における諸注意

出校日には、主として旭丘高校の校舎を使用します。そのため、校舎の使用に伴う心得は、旭丘高校の規則に従います。次の注意事項を必ず守ってください。

(1) 登 下 校

① 自動車通学は禁止です。通学の際は、公共交通機関を利用してください。身体的な事情等特別な場合は考慮することがあります。原付・自動二輪で通学する場合は、在校生手続セットまたは入学式書類セットにある通学届を出してください。校内外での事故等については、学校は一切責任を持ちませんので、各自交通法規を遵守してください。

(2) 校内生活

① 「HR伝達（ホームルーム伝達）」を読むこと。

出校したら、まず、各ホームルーム教室前に置かれている「HR伝達」を受け取り読んでください。使用教室の変更や、その他の大切な連絡があります。

② 面接指導日には、LTに出席すること。

各ホームルーム教室でホームルーム担任より出欠の確認や連絡など諸指導を受けてください。また、体育館にて合同で実施する場合があります。

③ 部活動に参加しよう。

部活動は、趣味や教養を高め、心身の健康を助長し、協力の態度を培うことを目的に、生徒が主体的に活動するものです。詳細については活動規定（p.45～p.46）を見てください。

④ 所持品の管理は各自でしっかりと。

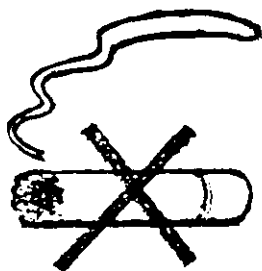
盗難の危険がありますので、多額の金銭や貴重品は持参しないでください。

所持品には記名し、各自でしっかりと保管してください。

体育や部活動の時間には、貴重品は必ず身に着け、決して教室などに放置しないでください。

⑤ 気持ちよく学校生活が送れるよう、次のマナーを守ってください。

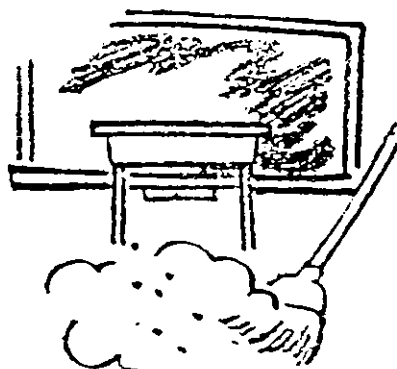
喫煙は禁止！



健康増進法第25条及び「健康日本21あいち計画」の趣旨を踏まえ、平成16年4月1日から学校敷地内全面禁煙となっています。

清掃をしよう！

下校前には使用した教室の整理を行ってください。
また、分担区域の清掃を行ってください。



⑥ 学校の備品などに手をふれないでください。

学校の備品などに手をふれたり、使用したりしないでください。また、教室の椅子や机を勝手に移動させないでください。やむをえず移動させた場合は、使用した人で、必ずもとにもどしておいてください。

⑦ 気分が悪くなったら、保健室へ！

学校の中で負傷したり、気分が悪くなったりした場合は、保健室（旭陵校舎1階）へ連絡してください。なお、内服薬は常置されていませんので、持病のある人は、薬を持参してください。

⑧ 健康上問題を持っている人は、ホームルーム担任に申し出てください。

持病のある人、現在医師にかかっている人など、健康上の問題をもっている人は、ホームルーム担任に申し出てください。

⑨ 「相談室」・スクールカウンセラーの利用を！

からだや心の悩みだけでなく、勉強・仕事等の悩みのある人が個人的にスクールカウンセラーと話ができるように「相談室」を設けています。場所は、旭陵校舎3階生物地学準備室の中です。スクールカウンセラー来校の日は「月報」または「HR伝達」で連絡します。

(3) 次のような場合には、ホームルーム担任に早急に届け出てください。

- ① 交通事故にあったり、交通事故を起こしたとき。
- ② 家族に不幸があったり、災害にあたりしたとき。
- ③ 姓・住所・勤務先・電話番号を変更したとき。
- ④ 転学、退学、学習中断しなければならない事態が生じたとき。
- ⑤ 校内でグループ活動をするとき。
- ⑥ 保証人、保護者の変更が生じたとき。

③ 学 校 行 事

学校行事には、次のような行事があります。可能な限り参加をしてください。

行 事 名	実施期日	行 事 内 容	対 象
新・転・編入学者 オリエンテーショ ン	4月22日	入学した生徒に対し、学習方法や学校生活について説明をする大切な行事です。	平成24年度 の新・転・編 入学者全員
校内生活体験発表 会	7月15日	本校に学ぶ生徒の生活体験を発表する会です。発表の優秀な生徒は、県・中部・全国大会に出場する道が開かれています。自分の生活を振り返るよい機会です。	全員
夏季宿泊面接指導 (林間学校)	7月21～22日	自然の中で野外活動を行うことによって、自然に親しむとともに、団体生活における社会的態度を養う機会です。(乗鞍高原)	希望者 (約40名)
4年次生宿泊面接 指導(修学旅行)	9月29～30日	学校生活のまとめとして、一泊二日で京都に行きます。	4年次生の 希望者
学校祭	10月21日	全体会と発表展示が柱となっています。希望する部活動・クラス・有志・個人がその発表単位となります。模擬店なども出ています。	全員
東海四県交歓会	10月28日	東海四県下の7校の通信制高等学校の生徒会執行部を中心にして、希望者を募って、交流や親睦をはかる会です。	生徒会執行 部及び希望 者
冬季宿泊面接指導 (スキー・スノー ボード学校)	1月5～6日	スキー・スノーボードの実習を通して、自然に親しむとともに、団体生活における社会的態度を養う機会です。(ひるがの高原)	希望者 (約30名)

注：上記以外に、入学式・卒業式・在校生手続きがあります。

④ 「日本スポーツ振興センター」及び「愛知県公立高等学校PTA連合会見舞金」の利用

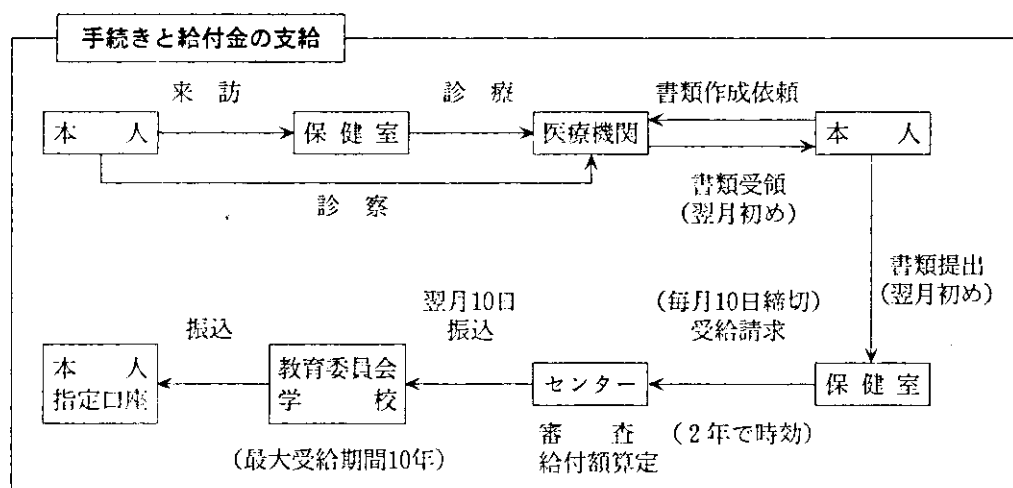
面接指導口の授業や課外活動などで、また、通常の経路・方法での通学途中で、負傷や病気になって医療機関にかかった場合は、「日本スポーツ振興センター」や「愛知県公立高等学校PTA連合会」から、医療費の一部が支給されます。

学校での負傷については、その時はたいしたことがないと思っても、必ず保健室へ来て手当を受けるか、医療機関で診療してもらうようにしてください。医療費は、下のような手続きをすればその一部が後日給付されます。

給付を受けるためには

1. 該当の災害が起きたら、必ず保健室に連絡してください。その時に手続きのしかたを説明します。
2. 災害発生後、少なくとも3日以内に医師にかかってください（できるだけその日に）。3日以上経過していても、手続きが複雑になりますが、給付されないわけではありませんので、医師にかかったときはその旨報告してください。
3. 手続きに必要な書類は、各月の月初めに保健室へ提出してください。また災害発生から2年間、センターに請求を行わないと、給付を受ける権利は時効によって消滅します。
4. 医療費のセンターからの給付は、初診から最長10年で打ち切られます。
5. 医療費総額（請求額）が5,000円未満の場合は支給されませんので、個人負担となります。

その他に、センターからの生涯見舞金等や愛知県公立高等学校PTA連合会からの見舞金（死亡・障害・治療）の給付が受けられる場合がありますが、障害や治療の見舞金を受けるためには、まずセンターからの医療費の給付を受けていることが前提となりますので、該当者には係から連絡します。



⑤ 生徒会

(1) 生徒会会則

第1章 総 則

第1条 本会は旭陵高等学校生徒会と称する。

第2条 本会は本部を旭陵高等学校職員室に置く。

第3条 本会は、教員の助言のもとに自主活動を通して、生徒相互の理解親睦と、教養を高め、学校生活を楽しく規律正しいものにすることを目的とする。

第4条 本会は、前条の目的を達成するために下記の活動を行う。

1. 学校生活の改善や福祉向上を図る活動
2. 学校行事に対する協力参加
3. 機関誌の発行
4. その他、目的を達成するための諸行事

第2章 運 営 組 織

第5条 本会は、旭陵高等学校生徒を会員とし、教員を顧問とする。

第6条 本会の活動に必要な経費は、会費その他をもってあてる。

第7条 本会の自主的な運営を円滑に推進するため、下記の委員会及び役員を置く。

1. 執行委員会 生徒会長1名、副会長1名、書記1名、会計1名、
運動部担当委員1名、文化部担当委員1名、HR担当委員1名
 2. 代議員会 各クラス代議員2名
 3. 専門部会 各部長
- ア. 2・3の委員会は適時開催する。
4. 選挙管理委員 委員2名
 5. 会計監査委員会 委員2名

ア. 4・5の委員については、代議員からの選出が望ましい。

第8条 役員の任期は当該年度4月から3月までとし、再任を妨げない。

第3章 執 行 委 員 会

第9条 1. 執行委員会は執行機関であり、第7条に定める執行委員会及び議決機関の代表である議長をもって構成する。

2. 執行委員は、選挙または信任投票によって選出され、生徒総会の信任を得て決定

する。

第10条 執行委員会は、必要に応じて生徒会長が招集する。

第11条 執行委員会は、代議員会等の各委員会及び総会の決議事項並びに緊急事項を処理執行する。

第12条 生徒会長が事故等の場合は、副会長がこれを代行する。

第4章 代 議 員 会

第13条 1. 代議員会は総会につぐ議決機関であり、代議員並びに執行委員で構成する。

2. 代議員は各クラスから2名選出する。なお、代議員が執行委員に選出された場合は、当該クラスから補充する。

ただし、HR委員がこれを代行することもできる。

第14条 代議員会は、必要に応じて適時開催する。

第15条 1. 代議員会は生徒会長が招集する。

2. 議長・副議長は第1回代議員会で選出する。また、議長が事故等の場合は副議長に代行能力は与えられず、新規に互選する。

第16条 代議員会の任務は下記の事項とする。

1. 生徒会活動の企画並びに決定
2. 予算審議及び年間活動方針の決定
3. HR活動の報告及び連絡
4. 表彰等に関する事項の実施

第5章 専 門 部 会

第17条 1. 専門部会は各部の部長で構成する。

2. 部長・副部長とも、各部より各1名選出する。

第18条 専門部会は必要に応じて執行委員会がこれを招集する。ただし、年度始めと年度末には必ず招集する。

第19条 専門部会では、主に部予算の承認及び活動内容の報告を行う。

第6章 選挙管理委員会

第20条 1. 生徒会役員選出のために選挙管理委員会を設置する。

2. 本委員会は、委員2名で構成されるが、選出は代議員の互選が望ましい。

第21条 本委員会の任務は下記の事項とする。

1. 立候補の受け付け
2. 選挙の告示
3. 投票及び開票の管理
4. その他、選挙及び信任投票に関する必要事項

第7章 会計及び会計監査委員

第22条 会費は会員1人につき、年額1,500円とする。

第23条 1. 会計監査は必要に応じて会計監査委員が行い、生徒総会で前年度の収支決算を報告する。

2. 会計監査委員は2名設ける。その選出は代議員の互選が望ましい。

第24条 会計年度は、4月1日から3月31日までとする。

第8章 生徒総会

第25条 1. 生徒総会は本会の最高の議決機関であり、定期総会を年1回開催し、(次期)執行部の成立その他を審議する。

ただし、必要に応じて生徒会長が代議員会の承認を得て、これを招集することができる。

2. 生徒会長は、会員の1/5以上の請求があった場合は総会を招集しなければならない。なお、この際の総会の名称は、臨時総会とする。

第26条 下記の事項についての議決承認は、必ず総会に付議しなければならない。

1. 執行委員の信任
2. 規約の改正
3. その他、代議員会で必要と認められた事項

ア、ただし、前年度決算報告及び年間行事報告は、生徒総会での審議にゆだねる。

第9章 議 決

第27条 1. あらゆる議事は、出席者の多数をもって議決される。

2. 可否同数の場合は、議長がこれを決定することができる。

3. 執行委員は、総会及び代議員会等の議決に参加できない。

4. 代議員会の議決は各クラス1票とし、他の委員会の議決もこれに準ずる。また、専門部会での議決は各部1票とする。

5. すべての議決は学校長の承認を得て成立する。

附 則

第28条 本会会則の改正は、代議員会より総会に提出され、承認されたのち学校長の許可を得て成立する。

第29条 本会会則は、昭和48年4月から効力を発する。

昭和55年4月 一部改正施行

昭和59年4月 一部改正施行

昭和61年4月 一部改正施行

平成2年4月 一部改正施行

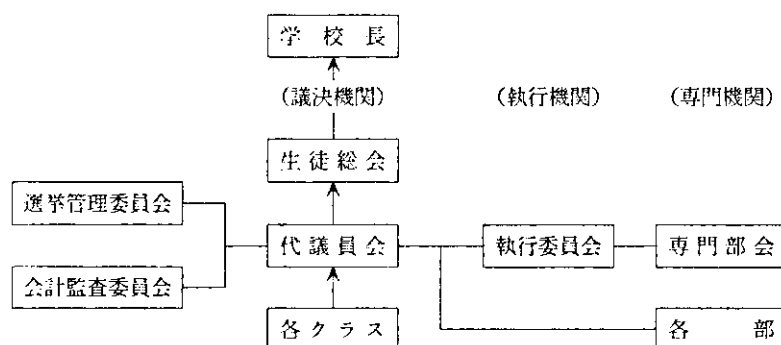
平成7年4月 一部改正施行

平成12年4月 一部改正施行

平成15年4月 一部改正施行

平成22年12月 一部改正施行

(2) 生徒会機構図



(3) 部活動規定 (抜粋)

1. 方針

部活動は、面接指導の時間外において、健全な趣味や豊かな教養を養い、個性の伸長を図り、心身の健康を助長し、集団生活において協力していく態度を培うことを目的とした、生徒の自主的活動とする。

2. 部活動一覧

① 部活動として活動できるのは、以下の部とする。

文化部 — 手芸、映画研究、美術、写真、書道、茶華道、ボランティア、パソコン

運動部 — テニス、バドミントン、サッカー、卓球、陸上競技、ソフトボール

3. 登録及び変更など実施要項

① 生徒は、いずれかの部に所属することができる。

- ② 複数の部に所属することができる。
- ③ 四月当初に登録を行う。
- ④ 年度途中における所属部の変更及び加入は、顧問の同意があれば認める。

(4) 生徒会慶弔規定

- 1 項 本規定は愛知県立旭陵高等学校在籍の生徒のみとする。
- 2 項 本規定に該当する事項は次の通りとする。
 - 1. 会員の死亡（花代・香典合わせて10,000円）
 - 2. 会員の直系一親等（親・子）の死亡（香典3,000円）
 - 3. 災害（流失・全壊焼・半壊焼）その他については代議員会等で協議する。
- 3 項 本規定に該当するものは、すみやかに担任へ届け出をしなければならない。

⑥ 東海地震等激甚災害時の対応について

- (1) 東海地震注意情報が発表されている場合や東海地震予知情報が発表（＝警戒宣言が発令）されている場合は、面接指導や学校行事等をおこないません。

ア 在宅時に発表された場合は、登校しないでください。

イ 登下校途中に発表された場合は、原則として帰宅してください。

（ただし状況によっては学校または最寄りの避難所に避難してください。）

ウ 学校にいるときに発表された場合は、まず担任・学校の指示にしたがい、帰宅経路の安全確認等を行って、速やかに帰宅してください。

（参考）東海地震に関連する情報は気象庁が発表することになっていて、次の３段階に区分されています。

〈東海地震に関連する調査情報（臨時）〉

東海地域の観測データに異常が現れているが、東海地震の前兆現象の可能性については直ちに評価できない場合等に発表されます。

〈東海地震注意情報〉

東海地震の前兆現象の可能性が高まったと認められた場合に発表されます。また、本情報の解除を伝える場合にも発表されます。

〈東海地震予知情報〉（＝警戒宣言）

東海地震が発生するおそれがあると認められた場合に発表されるもので、ほぼ同時に内閣総理大臣から警戒宣言が発令されます。また、本情報の解除を伝える場合にも発表されます。

- (2) 東海地震関連情報の発表や警戒宣言が発令がなく東海地震等激甚災害が発生した場合は、休校措置や面接指導等再開について学校が「災害用伝言ダイヤル」に録音しますので、それを聴いてください。

- (3) 学校の再開は、以下のようにします。

ア 東海地震注意情報の解除が伝えられた場合は、３日後から再開します。

イ 東海地震予知情報（＝警戒宣言）の解除が伝えられた場合は、３日後から再開します。

ウ 東海地震等激甚災害が発生した場合は、休校措置や面接指導等再開について学校が「災害用伝言ダイヤル」に録音しますので、それを聴いてください。

- (4) 「災害用伝言ダイヤル」を利用してみなさんと学校の情報を交換します。

「災害用伝言ダイヤル」とは、大規模な災害が発生した場合に運用されるシステムで、安否・居場所などを知らせるメッセージを30秒以内に録音・保存できる声の伝言板です。

利用方法 ①「171」へ電話をかけ、音声案内に従って市外局番からはじまる自宅の電話番号などをダイヤルして伝言を吹き込みます。

②録音された伝言を聴く場合は①と同様に「171」に電話をかけ、案内に従ってダイヤルすれば全国どこからでも聞き取れます。

③伝言の保存期間は2日間です。録音・保存できる伝言は被災の範囲や被害の大きさによって設定されますが、数件から最大10件となります。

④伝言の録音・再生とも通話料以外の料金は必要ありません。携帯・公衆電話からも利用可能です。電話が混雑している場合は、災害時優先電話である公衆電話から利用できます。ただし平常時は運用していません。

ア 生徒・保護者が休校措置・面接指導等再開などの決定及び伝達を聴く場合

学校の電話番号を暗証番号とします。

「171」→「2」→ 暗証番号「052-721-5371」→ 再生
学校の電話番号

文例 「旭陵高校です。○月○日現在の情報です。学校も被害を受けしばらく休校とします。当面の間、自宅または避難している場所で待機してください。また、学校があなたの安否を確認できるように、あなたの自宅の固定電話番号を暗証番号として伝言ダイヤルに録音するか、電話が復旧したら安否について学校まで連絡してください。」

イ 生徒・保護者が自分と家族の安否、住居被害状況や現在避難している場所などの情報を録音する場合

自宅の固定電話番号（学校に届けている番号）を暗証番号としてください。

「171」→「1」→ 暗証番号「自宅の固定電話番号 市外局番から」→ 録音
(30秒以内)

注意 携帯電話の番号は利用できません

文例 「クラス1A、生徒番号24〇〇〇、「旭陵太郎」本人です。自分も家族も無事ですが、自宅は被害を受けて、○月○日現在、△△△（避難している場所や住所など）に避難しています。」

第五章 本校生の特典・施設の利用・同窓会・その他

① 本校生の特典

(1) 教科書・学習書購入代金の還付

在校生手続日または入学式当日に購入した教科書・学習書の代金が次の条件で後日還付されます。還付のためには、申請書と証明書を平成24年4月22日(日)までに提出してください。
(入学式書類セット、在校生手続書類セットを参照してください。)

在 籍 年 数	還付条件 (法律改正により変更されることがあります。)
平成24年度入学生	有職者など (病気で就業できない者も含みます。)
2 年 目	14単位以上修得者で、今年度2科目以上受講する有職者等
3 年目以上	28単位以上修得者で、今年度2科目以上受講する有職者等

※平成23年度から教科書・学習書無償給与の取扱いはおこなっていません。

教科書等を購入する必要がある生徒は、いったん必ず購入してください。

購入後、還付申請手続をした者のうち承認されたものに対して、教科書等の代金を還付します。

(2) 乗車運賃の割引

- ① 通学用 JR (バスは除く) 名鉄電車及び近鉄電車を利用して通学する場合は、割引回数券 (各社5割引) が利用できます。(通学以外には使用できません。従って、出校日数に応じた枚数 (年間6枚) しか発行できません。)
- ② 旅行用 受験、帰省、保護者の旅行に随行するなどの目的で、JR (バスは除く) 及び近鉄電車で片道100kmを越える区間に乗車する場合は、運賃割引証 (2割引) が利用できます。バス・航路・その他の私鉄は、割引制度に該当するかを調べてから申し込んでください。

注意1. 乗車運賃の学割証の発行は、面接指導日の午前中に事務室へ申請してください。午前中に申請のあったものについては、午後に発行します。午後に申請があったものは翌週の発行となります。

2. 学割証によって買い求めた割引乗車券は、所定の身分証明書を携帯しないときには使用できません。また身分証明書は係員の請求があるときは提示しなければなりません。

3. 各社割引回数券は、次の駅で購入できます。

JR・・・大曽根・金山・名古屋など

名鉄・・・大曽根・金山・名古屋・上飯田・日進のみ

近鉄・・・名古屋・蟹江・桑名など

4. 在校生は4月8日(日)の在校生手続日から、平成24年度の新・転・編入生は4月15日(日)の入学式の日から申請を受け付けます。

ただし4月8日(日)及び15日(日)の申請分の学割証の発行は4月22日(日)の新・転・編入生オリエンテーションの日になります。

5. 平成24年度の最終発行日は、2月17日(日)の追認指導日となります。

(ただし、2月17日(日)発行の学割証の有効期限は2月22日(金)までです。)

6. 特科生及び併修生に対しては学割証は発行できません。

(3) 定時制・通信制課程修学資金貸与

対象および資格 経常的収入を得る職業に就いていて、経済的理由により著しく修学が困難である者(所得制限有り)で独立行政法人日本学校支援機構から学資の貸与を受けていない者。

貸与額 月額14,000円程度(平成24年度新入生の場合)

返還について 卒業すれば返済は免除されますが、貸与の要件を欠く(離職や退学等)場合は全額返済することになります。

応募期間 5月下旬～6月初旬(5月中旬以降の「HR伝達」に案内を載せます。)

(4) 育英制度

育英制度として、愛知県高等学校等奨学金制度(月額11,000円～23,000円)、日本学生支援機構やあしなが育英会、阿部育英基金による奨学金などがあります。内容や条件はそれぞれ異なりますので、詳しくは教務課の奨学生担当者に問い合わせてください。

② 施設の利用

(1) 視聴覚教室の利用

視聴覚教室は旭陵校舎の4階にあります。ここのビデオ機器を利用したい人は、各教科・科目の担当教員に直接申し出てください。なお、備え付けの視聴覚機器に許可なく触れないようにしてください。

(2) 図書室の利用

図書室は旭陵校舎の1階にあります。ここには学習用図書や一般図書が多く備えられていますので、学習をすすめるためにも教養を身につけるためにも、これらの図書をおおいに利用されることをすすめます。

① 閲 覧

ア 開架式ですから自由に本を取り出して閲覧することができます。

イ 閲覧し終わった図書は、分類記号に注意して必ずもとの場所にもどしてください。

ウ 図書を室外へ持ち出すときは、必ず貸出の手続きをすませてください。ただし、禁帯出のラベルが貼ってある図書は、室外へ持ち出すことはできません。

エ 開室時間は、面接指導日の日曜日・火曜日とも9時00分～16時00分です。

② 貸 出

面接指導日の放課後にカウンターにおいて貸出手続きの上借り出してください。

ア 貸出の冊数 1回に3冊まで（ただし、夏・冬休み前には6冊まで）

イ 貸出の期間 次の面接指導日までです。

ウ 貸出の手順

- 借りたいと思う本をカウンターの係まで持って行きます。
- 本の裏表紙内側のポケットに入れてあるブックカードを取り出し、所定の事項を記入して提出します。
- ブックカードが入っていない学習用図書は、カウンターにおいてある貸出ノートに所定の事項を記入すれば借りることができます。

ブックカード

それぞれの本についています。

年 組	氏 名	貸出日	返却日

ここに記入して借りてください。

生徒番号は書かなくても結構です。

エ 返却の手順

- カウンターの係に学年・組・氏名を言って、本を提出します。
- ブックカードまたは貸出ノートに返却の日を記入し、返却の印を押します。
- ブックカードをポケットにおさめ、本は書架のもとの位置にもどします。
- 学習用図書は、貸出ノートに返却の印を押したのち、書架のもとの位置にもどします。

③ 注意事項

ア 貸出期間は必ず守ってください。長く借りたい時は延長手続きをしてください。

イ 本に折目をつけたり、指を舌でぬらしてページをめくったり、飲食しながら本を読まないでください。（図書室内での飲食は厳禁です）

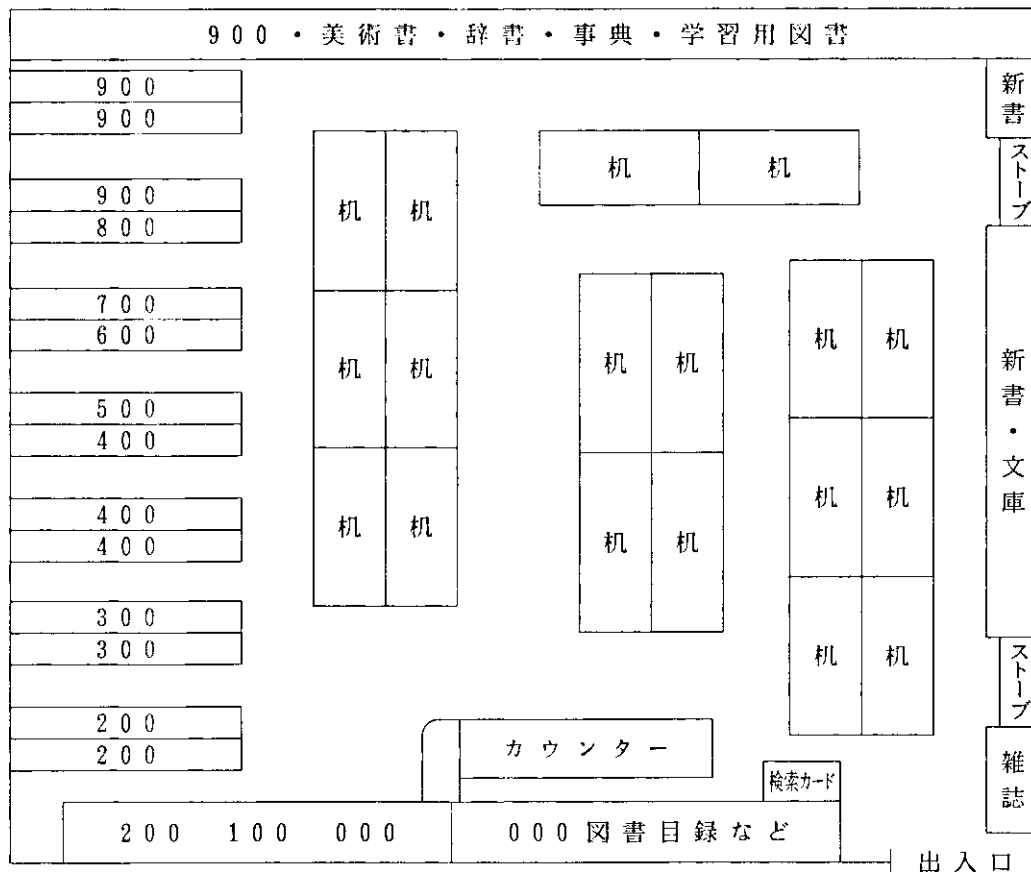
ウ 図書室内では雑談、私語をつつしんでください。また室内での携帯電話等の使用はやめてください。

④ 図書の分類と配架

図書は日本10進分類法にしたがって、書架に配列されています。(学習用図書は各教科ごとに配列されています。)

10進分類法	0 0 0	総 記	5 0 0	工 学
	1 0 0	哲 学	6 0 0	産 業
	2 0 0	歴 史	7 0 0	芸 術
	3 0 0	社会科学	8 0 0	語 学
	4 0 0	自然科学	9 0 0	文 学

9 1 8	← 分類番号
+	← 著者名記号(著者の頭文字)
1 A	← 巻冊、副本記号



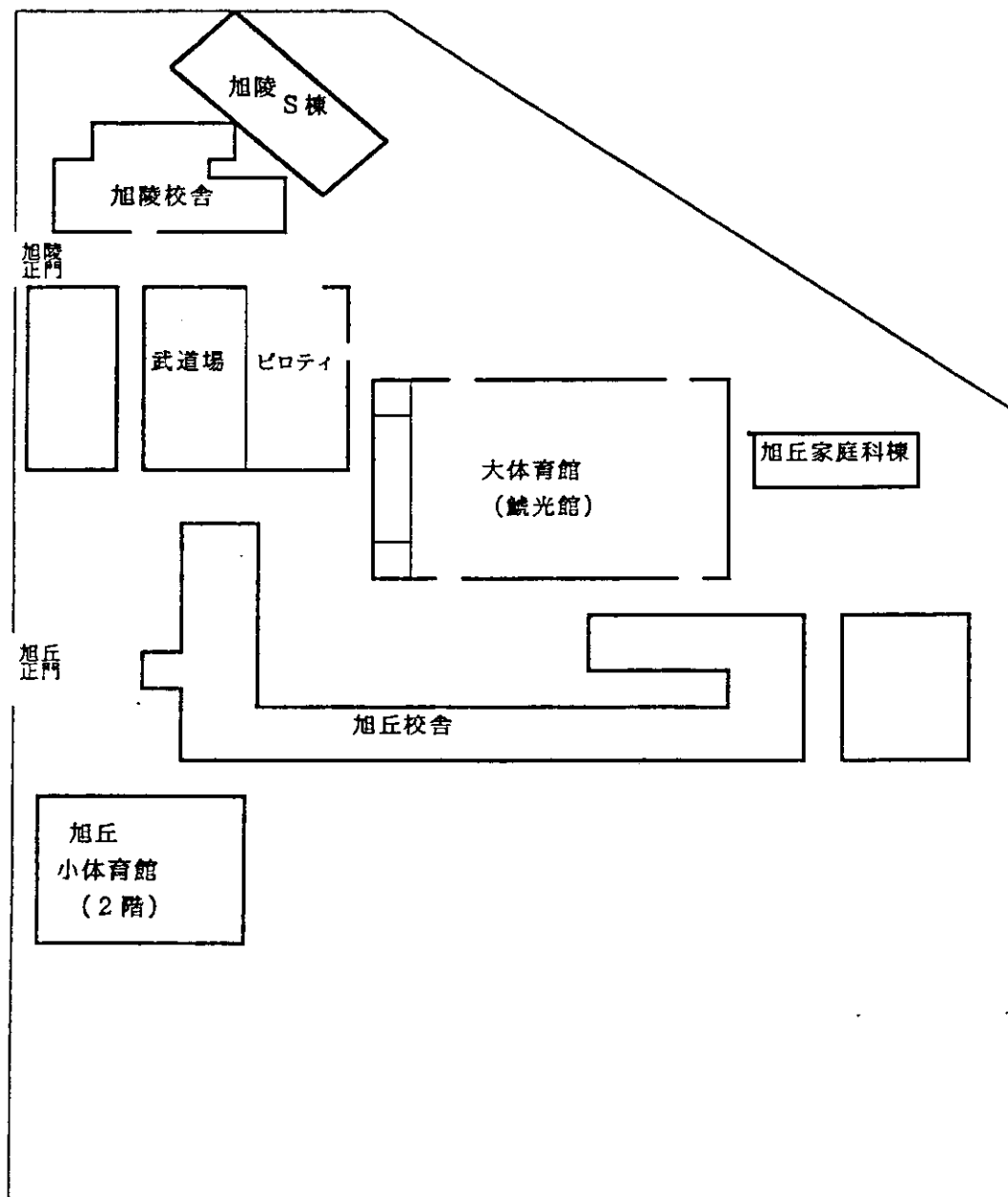
なお、進学資料・資格取得資料などは、2階の廊下に配架してあります。2階職員室教務課進路係にもあります。閲覧を希望する人は申し出てください。

③ 同 窓 会

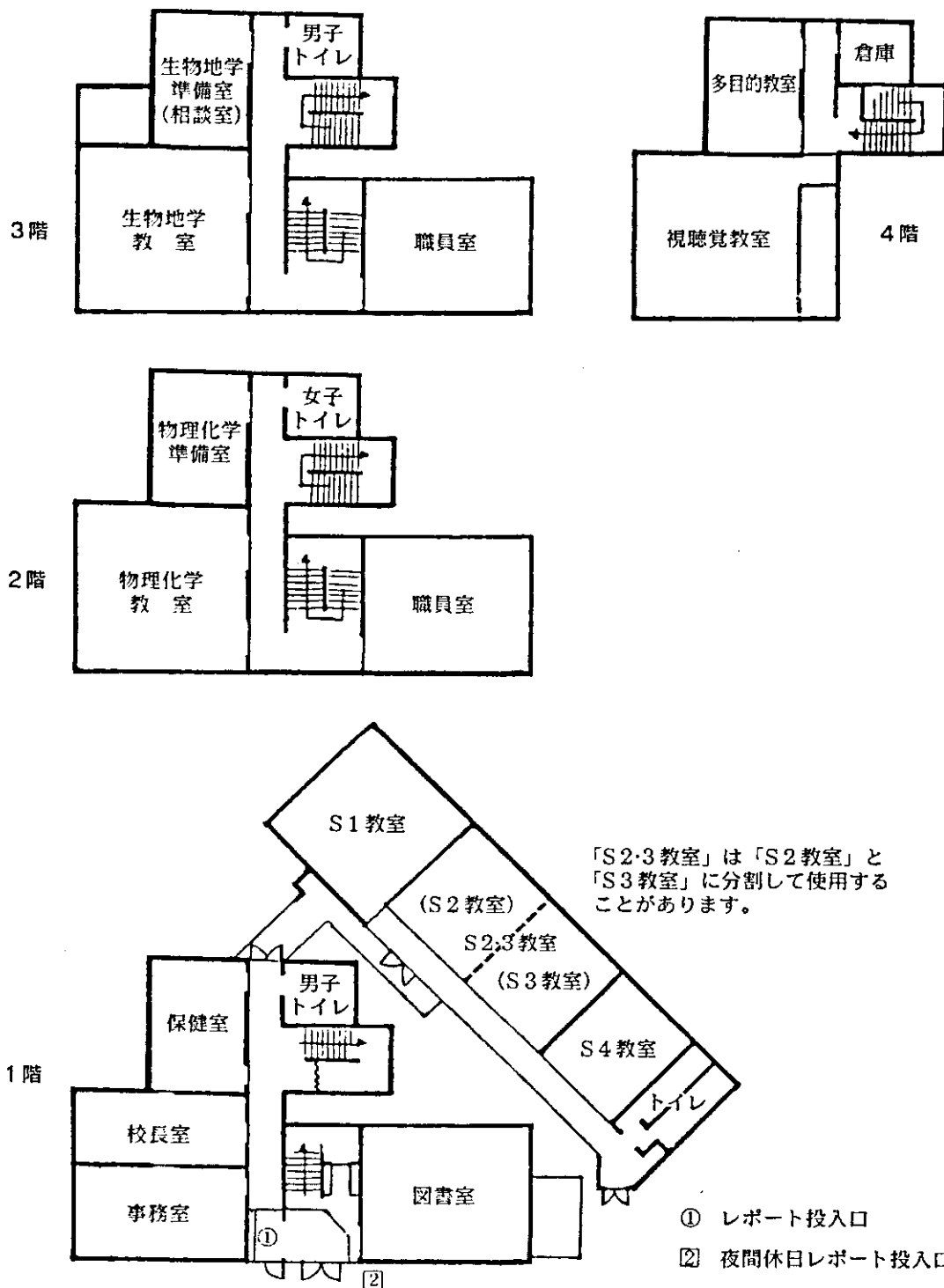
本校卒業生のための同窓会組織として旭陵会があります。旭陵会は年一回の総会の開催のほか、卒業年度ごとに同期会を開催して会員相互の親睦をはかり、併せて旭陵高校の発展に寄与することを目的としています。

校舎配置図

1. 校舎・敷地内は全面禁煙です。
2. 自転車・原付は指定された場所に置いてください。
3. 道路は駐車厳禁です。絶対に止めないでください。
4. 学校の周りの人々に迷惑になる行為は慎んでください。



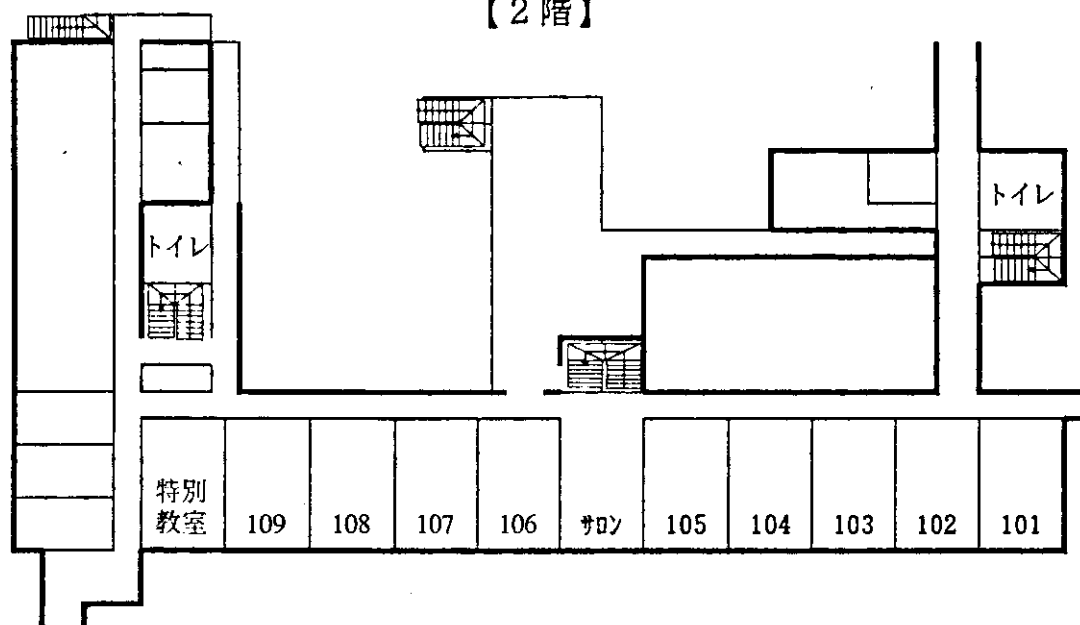
旭陵校舎



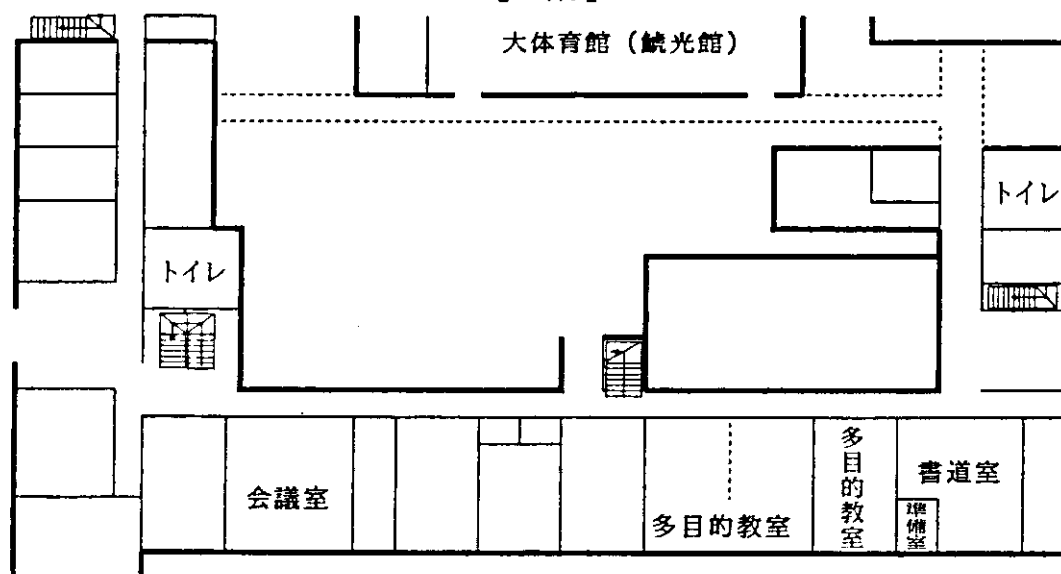
旭丘校舎（１・２階）

■旭丘校舎のうち、旭陵高校が使用しない場所には立ち入らないようにしてください。

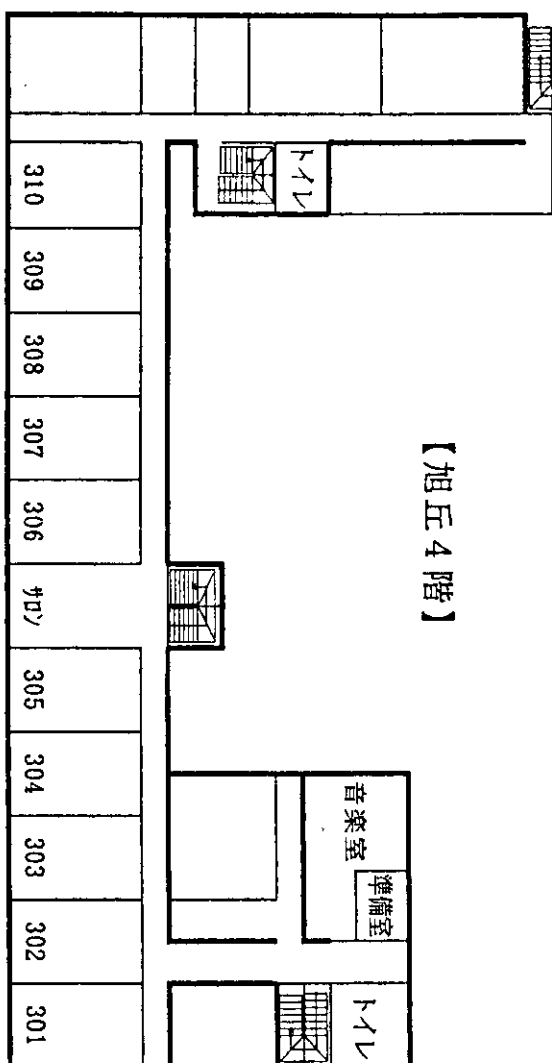
【２階】



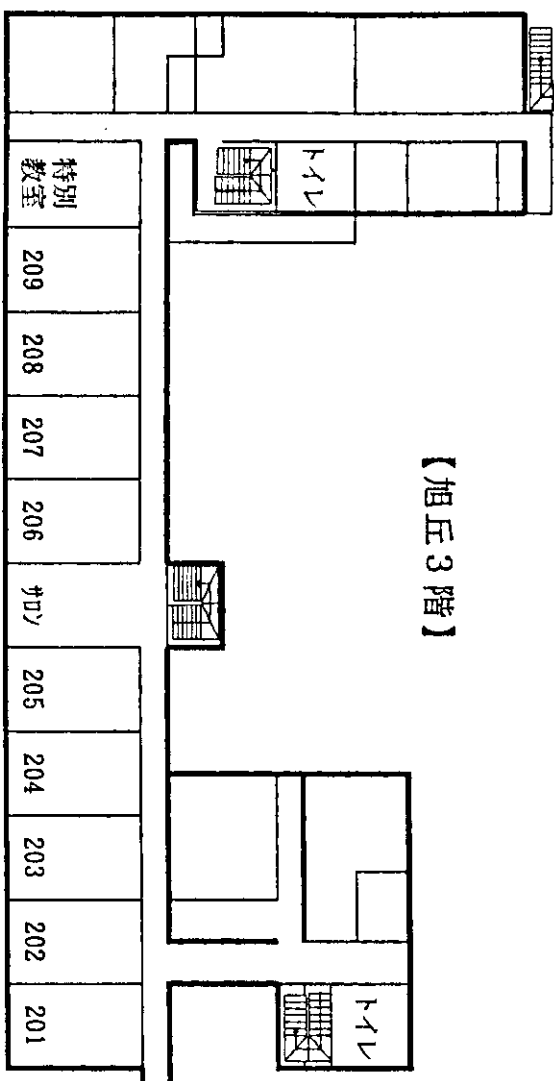
【１階】



【旭丘4階】



【旭丘3階】



本 校 の 沿 革

- 昭和23年2月 愛知県第一中学校に通信教育部が付設される。
- 4月1日 学制改革により愛知県立第一高等学校と校名を変更、実施科目は国語甲一・二、専任2名で発足する。
- 10月1日 愛知県立第一高等学校は名古屋市立第三高等学校と統合し、愛知県立旭丘高等学校と校名を変更。
- 昭和31年4月 体育が実施科目に加えられ、卒業に必要な全科目が開講される。はじめて協力校が設けられ、半田、安城、足助、国府、新城の各県立高等学校が協力校となる。
- 昭和34年3月 この年度の卒業生8名。その内2名が、通信教育で全科目を履修したはじめての卒業生である。
- 4月 協力校のうち足助高等学校が廃止され、豊田西高等学校が新しく協力校となる。
- 昭和35年4月 協力校のうち国府高等学校が廃止され、豊橋東高等学校が新しく協力校となる。
- 昭和36年4月 協力校のうち、半田、新城の各高等学校が廃止される。
- 10月31日 学校教育法が一部改正され、通信制の課程となる。
- 昭和38年4月 教育課程が全面的に改正される。
- 昭和40年4月 この年から協力校のうち安城高等学校では第1～第4年次の全科目、豊橋東、豊田西の各高等学校では第1、第2年次の科目の面接指導を実施することになる。
卒業生100名を越える。(総卒業生126名のうち、通信教育で全科目を履修した卒業生105名)
- 昭和41年3月 通信制専用校舎が完成する。
- 昭和42年4月 協力校のうち豊橋東高等学校、豊田西高等学校が廃止され、安城高等学校に統合される。
また、この年、三河地区生徒は新設の愛知県立刈谷高等学校通信制課程(現刈谷東高等学校)に入学することになる。
- 昭和46年2月 通信制課程の分離独立が認められる。
- 4月1日 愛知県立旭陵高等学校が発足する。
- 11月14日 開校記念式典が挙行される。
- 昭和48年4月 教育課程が改訂され、第1年次から順次実施する。
- 昭和49年6月 校舎の増築が完成する。
- 昭和50年4月 火曜日にも面接指導を実施することになる。
- 昭和56年3月 校歌制定される。
- 昭和57年4月 教育課程が改訂され、第1年次から順次実施する。
- 昭和59年4月 この年から大学入学資格検定合格科目の単位認定を実施する。
- 5月 同窓会の呼称を「旭陵会」とする。
- 平成元年4月 学校教育法が一部改正され、修業年限が3年以上と改められ、二期制を導入する。
普通教室が4教室増設。
- 平成2年11月18日 開校20周年式典が挙行される。
- 平成6年4月 教育課程が改訂され、第1年次から順次実施する。
- 平成7年12月 旭陵校舎の一部が改修される。
- 平成12年11月5日 30周年記念式典が挙行される。
- 平成15年4月 教育課程が改訂され、第1年次から順次実施する。
- 平成22年10月24日 40周年記念式典が挙行される。

住所
姓 変更届

平成 年 月 日

愛知県立旭陵高等学校長殿

学年・組 _____ 生徒番号 _____

氏 名 _____ ㊟

昭和・平成 年 月 日生
旧姓 _____

年 月 日に 住所 姓 を下記のとおり変更しましたからお届けします。

記

旧住所 _____

新住所 〒 () TEL () -

自宅付近の略図

通学経路 自宅→

→学校

緊急連絡先

ここから下には何も記入しないでください

ホームルーム担任（データシステム ☐ ・住所録 ☐ ・個表 ☐ ）

勤 務 先 変 更 届

平成 年 月 日

学年・組 _____ 生徒番号 _____

氏 名 _____ ㊟

下記のとおり勤務先を変更しましたのでお届けします。

記

旧 勤 務 先 _____

新 勤 務 先 名 _____

新勤務先住所 _____

勤務先電話 _____ 番

緊急の場合 の連絡方法	
----------------	--

※ 勤務先への連絡は（可・否）

学 習 中 断 届

平成 年 月 日

愛知県立旭陵高等学校長殿

学年・組 生徒番号

氏 名 ㊟

下記により、平成24年度の学習を中断いたしますので、お届けします。

記

理 由			
連 絡 先	(住所) 〒 方 Ⅲ		
備 考 (担任所見)	ここには何も記入しないでください。 <table border="1"><tr><td>担任 確認</td><td></td></tr></table>	担任 確認	
担任 確認			

この届を提出するときは、事前にホームルーム担任と十分相談してください。
この届を提出しなかったり、学校からの連絡に応じない時は、除籍されることもあります。

学 習 中 断 届

平成 年 月 日

愛知県立旭陵高等学校長殿

学年・組 生徒番号

氏 名 ㊟

下記により、平成25年度の学習を中断いたしますので、お届けします。

記

理 由			
連 絡 先	(住所) 〒 方 ㊟		
備 考 (担任所見)	ここには何も記入しないでください。 <table border="1"><tr><td>担任 確認</td><td></td></tr></table>	担任 確認	
担任 確認			

この届を提出するときは、事前にホームルーム担任と十分相談してください。
この届を提出しなかったり、学校からの連絡に応じない時は、除籍されることもあります。

愛知県立旭陵高等学校校歌

久野 保 佑 作詞
水 谷 昌 平 作曲

Moderato 爽快に mp

1. さ
えう ざと えと ととと そみか らずぜ はわき わやめ たまぐ りやり れせじ
い うし うん のの ひい かの りち さあ つれ つてる はと かす
にじく もにも かめ がや くほ きり ぼ う りと ざし しまき たみあ おあひ おうの くくめ
(たっふりと)
ととと ももも ももも にに つつ どど いい まはら ー ばまか しじし
(心ゆくめで)
あ ー きく りう こころのふる さと
きく りう こうこう われらがぼ こ う 2 とそ 3 う

愛知県立旭陵高等学校校歌

- | | | |
|--|--|---|
| 一、 | 二、 | 三、 |
| さえずえと
玲瓏の
はるかにも
こころざし
ともどもに
旭陵高校
ああ旭陵 | とうとうと
清新の
ひとすじに
玉と玉
ともどもに
旭陵高校
ああ旭陵 | そうそうと
情熱の
けわしくも
うるわしき
ともどもに
旭陵高校
ああ旭陵 |
| 空晴れわたり
光さしつづ
かがやく希望
高く雄々しく
集い学ばむ
心のふるさと
われらが母校 | 水わきやまず
生命あふれて
めざすは理想
みがきあうべく
集い励まむ
心のふるさと
われらが母校 | 風吹きめぐり
息吹みなぎる
わけゆく行路
明日の日の夢
集い拓かむ
心のふるさと
われらが母校 |

平成24年度年間行事予定表

月	日	行 事
4	8	在校生手続・内科検診
	15	入学式
	22	新・編・転入生オリエンテーション 内科検診・1年X線・心電図
5	6	X 1 面接指導
	13	Y 1 面接指導 (離任式)
	15	z 1 面接指導→実施科目はp.22参照
	21~24	保護者個別懇談会
	27	X 2 面接指導
6	3	Y 2 面接指導 (生徒総会)
	5	z 2 面接指導→実施科目はp.22参照
	17	X 3 面接指導
	24	Y 3 面接指導 (進路説明会)
	26	z 3 面接指導→実施科目はp.22参照
7	8	X 4 面接指導 (防災避難訓練)
	15	Y 4 面接指導 (校内生活体験発表会)
	17	z 4 面接指導→実施科目はp.22参照
	21~22	夏季宿泊面接指導 (林間学校)
	24	(z 面接予備日) 29 (日曜面接予備日)
8	16	受験資格連絡発送予定日
	26	補充面接指導→実施科目はp.24参照・部活動日
	31	生徒問い合わせ日
9	2	前期 X 試験
	9	前期 Y 試験
	16	(定期試験予備日)
	23	再試・追試
	29~30	4年次生宿泊面接指導 (修学旅行)

月	日	行 事
10	7	X 5 面接指導
	14	Y 5 面接指導 (教科書代還付説明会)
	16	z 5 面接指導→実施科目はp.22参照
	21	学 校 祭
11	28	東海四県交歓会
	4	X 6 面接指導
	11	Y 6 面接指導
	13	z 6 面接指導→実施科目はp.22参照
	18	(日曜面接予備日) 20 (z 面接予備日)
12	25	X 7 面接指導 (受講登録説明)
	2	Y 7 面接指導 (受講登録・教科書代還付説明会)
	4	z 7 面接指導→実施科目はp.22参照
	9	X 8 面接指導 (受講登録)
	16	Y 8 面接指導 (受講登録)
1	18	z 8 面接指導→実施科目はp.22参照
	23	補充面接指導→実施科目はp.24参照
	5~6	冬季宿泊面接指導 (スキー・スノーボード学校)
	10	受験資格連絡発送予定日
	20	後期 X 試験
2	27	後期 Y 試験
	3	(定期試験予備日)
	10	再試・追試
3	17	追認指導
	17	卒業証書授与式

上記の他、一部の科目で「校外学習」を実施することがあります。
詳細は「HR伝達」でお知らせします。(p.19参照)

各レポートの提出期限は、この「生徒便覧」の「学習計画表」を見てください。

「高認による単位認定申請」締切日(必着)

高認の科目合格による単位の認定を希望する者は、必要書類を1月29日(火)までに、ホームルーム担任へ提出してください。(詳しくはp.10を参照してください)

「技能審査による単位認定申請」締切日(必着)

技能審査の成果による単位の認定を希望する者は、必要書類を1月29日(火)までに、ホームルーム担任へ提出してください。(詳しくはp.11を参照してください)

遅滞レポート提出期限 (必着)

前期遅滞レポート	7月11日(水)
中期遅滞レポート	11月7日(水)
後期遅滞レポート	12月12日(水)

再提出・視聴記録締切日 (必着)

前期再提出レポート	7月25日(水)
中期再提出レポート	11月21日(水)
後期再提出レポート	1月7日(月)
視聴記録	1月7日(月)